

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(大聖寺実業高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(谷内洋之 川邊克彦)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
一人一台端末を意識した授業実践を学校全体で実施することで、多くの生徒たちが一人一台端末の授業を経験した。コミュニケーション英語では、調べ学習の共有や英語で作成したスライドの集約と共有を行い、英語による発表を行った。一人一台端末を意識した授業実践において学習評価の方法が模索された。	一人一台端末を使用した授業を日常的に行っている教職員の割合は60~80%程度に留まっている。令和4年度からは生徒達に一人一台端末が貸与されるため、全教職員が日常的に一人一台端末を活用した授業を行えるよう、校内の実践例や他校の実践例を周知するとともに、各教員がGIGAスクール環境を積極的に活用できる内容に令和4年度校内研修計画を作成する必要がある。

校内研修のアイデア

職員会議や若手育成プログラムを活用したOJTを行う。
GIGAサポートの活用。
授業実践の情報交換を行い、評価、改善できるPDCAサイクルを作る。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

生徒一人ひとりが端末を授業のみならず日常的に使用し、個別最適な使用方法を生徒自身が見出して機器を使いこなすことで、各自の資質・能力をより一層伸ばせるようになる。また、クラウドを活用した協働学習を通じて多様な意見に触れ、議論や考えの整理などを行うことで学びを深めていく。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	校内研修①【本校での一人一台端末の使用方針】 新任者研修【情報モラル・セキュリティー】	推進リーダー	新年度 GoogleforEducationの使 い方研修会
5月	校内研修②【学校における教育活動と著作権】 若手育成プログラム研修①	推進リーダー	職員会議 日々の情報共有 若手育成プログラム
6月	授業実践①【教科で1人1台端末を活かす授業】 何(アプリ・端末)を使ったのか具体的に。		各授業
7月	若手育成プログラム研修② 【授業実践を振り返る】	推進リーダー	期末考査期間の若プロ研修
中間 目標	生徒の学びの変容(ステップ1)を意識した授業実践を試みる 全体ではなく教科ごとに検討会を行い、導入しやすい実践例を共有し合う。		
8月	校内研修③【GIGAサポートを活用した研修】 1学期の取り組みを受けてセンター研修を行う。	推進リーダー	GIGAサポート研修
9月	若手育成プログラム研修③ 【GIGAサポート研修を振り返る】	推進リーダー	中間考査期間の若プロ研修
10月	校内研修⑤【実践の共有】	推進リーダー	職員会議 日々の情報共有
11月	授業実践②【教科の学びを深める授業】		互見授業
12月	若手育成プログラム研修④ 【授業実践を振り返る】	推進リーダー	期末考査期間の若プロ研修
中間 目標	生徒の学びの変容(ステップ2)を意識した授業実践を試みる		
1月	校内研修⑦【GIGAスクールライブラリG2-1】	推進リーダー	職員会議 日々の情報共有
2月	校内研修⑧【授業実践例の共有】	推進リーダー	職員会議 日々の情報共有
3月	校内研修⑨【総括・次年度へ向けて】	推進リーダー	職員会議

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立大聖寺高等学校

GIGA校内研修推進リーダー(高野英樹、山本紳二、南出光)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> モデル校として1年生が1人1台端末を常用していたことにより、ほとんどの生徒が抵抗なくChromebookを使うことができる状態になっている。 ICT活用に積極的な教員が教科の授業だけでなく、総合的な探究の時間や課題、補習、学校行事など、様々な場面で活用を模索することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末初年度ということで、Chromebookを使うことが目的となっている事例が多くなってしまった。 Chromebookの運用に関しては教員もだいぶ慣れてきてはいるものの、イレギュラーなことが起こった際の対応などで苦慮する場面も見られた。

校内研修のアイデア

- 全体研修では、1人1台端末を活用した深い学びにつながる授業改善について研修を深める。
- 先生方の活用レベルに合わせた希望選択型の研修を進める。
- 特別アドバイザー(外部有識者)の視点から本校の取り組み状況についての示唆をいただく。
- 特別アドバイザー(外部有識者)から他校の先進事例を紹介してもらい、全教員で共有する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- <生徒>
- 1人1台端末を操作することができ、教科の授業の中で活用することができる。
 - 総合的な探究の時間や課外活動など、教科の枠を超えた学びの場面で活用することができる。
- <教員>
- 1人1台端末の基本的な操作方法を習得し、生徒に指導することができる。
 - 各教科の授業の中で、教科の学びを深めるための1人1台端末の活用方法を考えることができる。
 - 総合的な探究の時間や課外活動などで、1人1台端末の効果的な活用方法を考えることができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	今年度の研修についての共通理解[全体研修]	推進リーダー	
5月	すべての先生がChromebookを使った授業ができるように[個別]	推進リーダー ICT支援員	
6月	授業公開週間での授業相互参観[個別] 特別アドバイザーによる授業参観&研修[個別・全体研修]	推進リーダー アドバイザー	公開授業週間
7月	1学期に取り組んだ実践について全体で共有[全体研修]	推進リーダー	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> すべての教員が1人1台端末を活用した授業を行っている。 授業以外の活用についての研究を始める。 		
8月	長期休暇でのGIGA活用を進める。[個人、教科会、全体]	推進リーダー 教科主任	
9月	各教科で1人1台端末を活用した研究授業を実施する。 指導案検討・教材準備・研究授業・授業整理会		公開研究授業 中学校連携
10月	教科内で1人1台端末の実践を積み重ねる。[教科会] 各教科での実践を全体で共有[全体研修]	推進リーダー 教科主任 学年会 アドバイザー	
11月	特別アドバイザーによる授業参観&研修[全体研修]		
12月	2学期に取り組んだ実践について全体で共有[全体研修]	推進リーダー	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> 各教科での実践研究が深まっている。 各教科の取り組みなどを全体で共有することにより、新たな活用方法や活用場面を見出すことができる。 		
1月	先進校の事例から学ぶ。[全体研修、教科会、個人]	推進リーダー	
2月	特別アドバイザーとともに、今年度の成果と課題を確認する。 [推進リーダー、全体研修]	推進リーダー アドバイザー	
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立加賀学校

GIGA校内研修推進リーダー 三ツ村 毅

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 「ICTが効果的に使われている」という項目に対して、肯定的な評価が前期81.2%⇒後期91.0%と大幅に上昇し、生徒に「効果的に使っている」と感じさせることができた。 特定の場面(グループで共有、調べ学習、発表など)の活動がスムーズになり、生徒も操作に慣れた。 健康管理や授業評価など、授業外でも使用できるシステムを作ることができ、作業時間の短縮に役立った。 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち運びが不便という意見が多いので、移動教室の多い本校での、一人一台端末の最適な運用方法を模索すること。 一人一台端末を使用する教員(授業)がある程度固定されており、生徒ごとの使用機会にばらつきがあるので、「全生徒」が使えるような機会を用意すること。 便利なアプリケーションなど、新しい活用方法の情報収集やその共有を行うことで、活用の質を高めること。

校内研修のアイディア
<p>【抵抗がある教員向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末を用いた自習課題、アンケート実施の監督 GIGA推進委員やICT支援員による授業見学と活用場面の提案 <p>【抵抗がない教員向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝学習での一人一台端末の活用実践 各分掌の事務作業のデジタル化チャレンジ 一人一台端末を用いた「思考・判断・表現」の場面づくりを実践 総合的な探究の時間、部活動、生徒会活動などにおける実践 <p>【全教員向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取り組みの共有、互見授業 他校の視察と共有 ICT支援員による活用研修

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>【生徒視点の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全生徒が、文章入力をスムーズに行えるようになる。 特定の生徒が、部活動や生徒会活動、総合的な探究の時間等において、データを共有し、活用することができる。 <p>【教員視点の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価アンケートの項目『ICT機器を活用して、工夫した授業を行っている』において、全教員の平均がA評価(当てはまる)とB評価(やや当てはまる)を合わせて90%以上になる 全教員が、担当する教科・科目で「一人一台端末を活用した授業」を1回以上実践する。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・新たな授業づくり研修	新任者等	4/26(火)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	・年間計画と展望の共有[全体会議]	推進リーダー	5/17(火)第2回GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	・互見授業週間(6/6~6/29) ・整理会や授業参観アンケートによる意見交換会 ・若手PTの勉強会・実践	各教科 個人	・互見授業週間
7月	・前期授業評価アンケートの実施 ・若手PTの勉強会・実践	教務課 個人	・前期授業評価アンケート
中間 目標	・生徒による授業評価アンケートの項目『ICT機器を活用して、工夫した授業を行っている』において、全教員の平均がA評価(当てはまる)とB評価(やや当てはまる)を合わせて85%以上。		
8月	・実践例の共有と活用方法講座を開講 ・外部講師による研修会(8月上旬)	推進リーダー センター指導主事	
9月	・研修報告会	推進リーダー	9/14(水)第3回GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	・互見授業週間(10/25~11/30) ・整理会や授業参観アンケートによる意見交換会 ・若手PTの勉強会・実践	各教科 個人	・互見授業週間
11月	・互見授業週間(10/25~11/30) ・整理会や授業参観アンケートによる意見交換会 ・若手PTの勉強会・実践	各教科 個人	・互見授業週間
12月	・後期授業評価アンケートの実施 ・若手PTの勉強会・実践	教務課 個人	・後期授業評価アンケート
中間 目標	・生徒による授業評価アンケートの項目『ICT機器を活用して、工夫した授業を行っている』において、全教員の平均がA評価(当てはまる)とB評価(やや当てはまる)を合わせて90%以上。		
1月	・授業評価アンケート等についての報告 ・「加賀探究II」課題研究発表会に向けて ・若手PTの勉強会・実践	担当者 個人	「加賀探究II」課題研究発表会
2月	・「加賀探究I」課題研究発表会に向けて ・若手PTの勉強会・実践	担当者 個人	・「加賀探究I」課題研究発表会
3月	・「産業社会と人間」課題研究発表会に向けて ・実践のまとめ ・次年度に向けて	担当者	「産業社会と人間」課題研究発表会 ・実践報告書作成

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<p>若手教員を中心に授業で積極的に使用した結果、生徒の習熟度が上がり、ベテラン教員も使用し始めた。 職員会議資料のペーパーレス化、求人票のPDF化により授業や校務でICT化が徐々に進んでいる。</p>	<p>授業での使用状況は、「調べ学習」にとどまっている。 生徒の学びに効率よく活用できるかを模索する必要がある。 小テストの配付や回収、採点など便利な機能を活用し、すべての教員が実践できるようになってほしい。また、あえて、ChromeBookを使用しないなど、授業の在り方を含め、授業改善や教材研究の必要がある。</p>

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> 各教科において授業で使用する どんな機能を使用するか考えて実践する
<ul style="list-style-type: none"> 授業実践の共有（学校づくり委員会を定期的開催し、実践事例を報告する）
<ul style="list-style-type: none"> 授業公開週間における互見授業（6月はすべての教員が1回以上ChromeBookを使用した授業を公開する、11月は2回以上ChromeBookを使用した授業を公開する）
<ul style="list-style-type: none"> GIGAサポート課に研修を要請する。 カメラで写真を撮影し、ドキュメントに取り込む、文字を入力する。 内容は、ドキュメントの配付、スライドの協同作業など

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>①教科でChromeBookを活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科において授業で使用する どんな機能を使用するか考えて実践する
<p>②ChromeBookを活用して、教科の学びを深める</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての教員が、生徒にChromeBookを使って「学んだことをまとめて発表する」機会を設ける

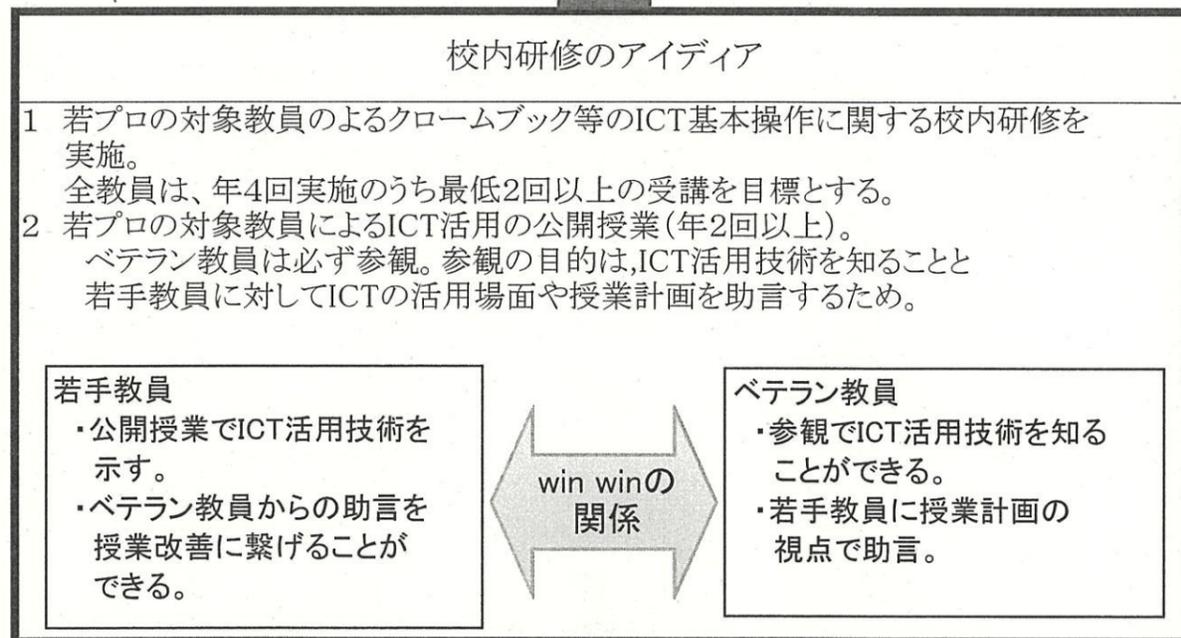
月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月			
5月			
6月	授業公開週間において、すべての教員が1回以上ChromeBookを使った授業を実践する。	すべての教員 教務課	校内授業公開週間
7月			
中間 目標	すべての教員が、授業でChromeBookを使ってみる		
8月	GIGA出前サポートによる職員研修を開催する。 夏休み中に、最低1回はmeetを使ってホームルームを実施する。希望する生徒には個人面談をmeetで実施する。	すべての教員 担任・副担任	
9月	欠席連絡をGoogleフォームで受けられるようにする。		
10月			
11月	授業公開週間において、すべての教員がChromeBookを使った授業を2回以上実践する。	すべての教員 教務課	校内授業公開週間
12月			
中間 目標	学びを深めるためのChromeBookの活用法についてすべての教員が考え、実践する。 すべての教員がどこかの単元で、「学んだことをまとめて発表する」という授業を実施する。個人単位・グループ単位いずれでもよい。		
1月			
2月	次年度に向けてシラバスの作成時に、ChromeBookをどの場面で活用するか考えて盛り込む。		
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(小松工業)学校

GIGA校内研修推進リーダー(平沢 謙輔)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・クロームブックやロイノートの基本操作に関する校内研修を5回実施することで1年間を通してICT活用を推進。 ・若手プロジェクトチームが中心にICT活用の実践を重ね校内に少しずつ実践事例を広めた。 ・生徒向けの1人1台PC使用のルールを策定。また、次年度から始まる1人1台PC運用に関する議論を重ね、ハード面とソフト面の整備を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のICT活用場面について教員対象のアンケートを実施したところ一斉学習は一定数の活用があるものの、個別学習と協働学習については低い数値が見られた。(12月末実施。複数回答可で一斉59.2%、個別21.1%、協働19.7%) ・先生方のICT活用の習熟度に大きな開き生まれつつあるため次年度においては、どのレベルの先生についても到達できる目標設定が必要である。



目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 1 全ての生徒が1人1人の習熟の程度等に応じた学習(個別学習)の場面において、ICTを使うことができる。
- 2 全ての教員が一斉学習、個別学習の場面において、ICTを活用することができる。
一斉学習の例としては、教員による教材の提示(画像の拡大表示や書き込み、音声、動画などの活用)などを想定。
個別学習の例としては、個に応じる学習・調査活動・思考を深める学習・表現制作・家庭学習などを想定。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・昨年度の成果と課題、今年度の建設計画を説明[全体会] ・Googleサイトにまとめた昨年度の校内の実践事例を確認[個人]	企画情報課 各教員	GIG校内推進リーダー研修(4/26)
5月	・若プロによる校内研修「第1回クロームブックの基本操作(仮題)」の実施[個別]	若プロコーディネータ、若プロ教員	GIG校内推進リーダー研修(5/17)
6月	・若プロによる校内研修「第2回クロームブックの基本操作(仮題)」の実施	若プロコーディネータ、若プロ教員	
7月	・実践事例の発表と校内研修の振り返り ・若プロ教員によるICTを活用した公開授業とベテラン教員の参観 ・昨年度、積み残しとなった数学科対象の研修センターのサポート研修[数学科]	若プロ教員 数学科教員	第1回校内アンケートの実施(対象は生徒および教員)
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教員が1学期中に若プロの対象教員による校内研修「クロームブックの基本操作」に最低1回は参加する。 ・全ての教員が授業で生徒1人1台端末を活用する。 		
8月	・外部講師による校内研修[全体]	企画情報課	GIG校内推進リーダー研修(9/16)
9月	・モデル校等視察(小・中・高)	1学期中に実践の少なかった教科の教員	
10月	・若プロによる校内研修「第3回クロームブックの基本操作(仮題)」の実施[個別]	若プロコーディネータ、若プロ教員	
11月	・教科対象の研修センターのサポート研修[対象教科はアンケート等から判断]	7月の校内アンケート結果から判断。	
12月	・若手教員とベテラン教員によるICT活用における校内成果発表[全体会]	若プロコーディネータ、若プロ教員	第2回校内アンケートの実施(対象は生徒および教員)
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学習の具体的実践事例を全教員(若手教員、ベテラン教員)が知っている。 ・若手教員が個別学習における授業実践を1人1提案し、校内サイトで共有する。 		
1月	・若プロによる校内研修「第4回クロームブックの基本操作(仮題)」の実施[個別]	若プロコーディネータ、若プロ教員	
2月	・教科対象の研修センターのサポート研修[対象教科はアンケート等から判断]	12月の校内アンケート結果から判断。	
3月	実践のまとめ[全体会] 次年度に向けて[全体会]	企画情報課	第3回校内アンケートの実施(対象は生徒および教員)

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(小松)学校

GIGA校内研修推進リーダー(横川 和也)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- 「全教員がICT機器を活用した授業を実践することができる」は概ね達成
- 「全生徒が総合的な探究の時間(探究基礎, 課題探究等)の成果をICT端末を利用して発表することができる」はおおむね達成
- 「多くの教員が担当する授業で, 生徒1人1台端末を活用して学ぶ授業を行うことができる」は30%前後にとどまる

課題

- 生徒1人に対して機材(chromebook)が追いついていない状況であったため, 1人1台端末の利用という面では不十分
- 教科の特性上ICT活用ににくい授業もあり「多くの先生が1人1台端末を活用した授業を行う」という目標は達成できていない
- 1人1台端末を活用した授業の準備にかなりの時間がかかってしまうため, 先生方の多忙化につながらないか心配

校内研修のアイデア

- ICT支援員と協力しながら, ICT端末操作の個別相談に対応する。
- 多くの教員が1学期中に1人1台端末を活用した授業を実施し, そこで浮上した問題点や疑問点を解決するための出前サポートを利用した校内研修を実施する。
- 放課後などにchromebookの活用方法やGoogle Form等のGoogleのサービスの活用方法などに関する短時間の研修を行う。
- 若手教員早期育成プログラム(若プロ)と連携し, 若プロを中心として1人1台端末を活用した授業を実践する。また, その授業実践例を全教員で共有する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 全教員が, 自身の担当する教科の特性にあわせて, 担当する授業で, 生徒が1人1台端末を活用して学ぶ授業を少なくとも1回は実践する。

教員:

学習用ソフトウェアなどを活用して, 資料などを効果的に提示したり, 個々の生徒の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませたりすることができる。

生徒:

互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように, ソフトウェアなどを活用することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・1人1台端末の運用方法について [全体]	推進リーダー	4/26(火) 第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	・若手プロジェクトチームによる勉強会(chromebook) [グループ・個人] ・ICT端末操作研修 [全体]	若プロコーディネーター 推進リーダー ICT支援員	5/17(火) 第2回GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	・若手プロジェクトチームによる中学校訪問パワーポイント作成 [グループ・個人] ・ICT端末操作個別相談(随時) [個人]	若プロコーディネーター 推進リーダー ICT支援員	
7月	・若手プロジェクトチームによる授業実践 [グループ・個人] ・ICT端末操作研修 [全体] ・教育相談室とのコラボ研修 [全体]	若プロコーディネーター 推進リーダー ICT支援員 教育相談課長	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> 若手プロジェクトチームによる授業実践例を全教員が共有できるようにする。 1人1台端末を活用した授業の中で浮上した問題点・疑問点等を集約し整理する。 		
8月	・ICT端末操作個別相談(随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員	
9月	・総合的な探究の時間(探究基礎, 課題探究等)でのICT活用 [各学年]	探究活動担当	9/14(水) 第3回GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	・教員総合研修センター出前サポート [全体] ・若手プロジェクトチームによる授業実践 [若プロ]	推進リーダー 若プロコーディネーター	出前サポート
11月	・若手プロジェクトチームで作成したパワーポイントを用いた中学校訪問・説明会 [若プロ]	若プロコーディネーター	
12月	・効果的なICT活用について [各教科]	教科主任	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> 全教員が授業の中で最低1回は1人1台端末を活用した授業を実践する。 多くの教員が1学期で浮上した問題点等を改善した授業を実践することができる。 		
1月	・総合的な探究の時間(探究基礎, 課題探究等)でのICTを用いた発表の準備 [各学年]	探究活動担当	
2月	・総合的な探究の時間(探究基礎, 課題探究等)成果発表 [各学年]	探究活動担当	
3月	・実践のまとめ [全体] ・次年度に向けて [全体]	推進リーダー	GIGA校内研修推進リーダー研修実線報告書

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(小松明峰高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(北井 修平)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・初期に基本的な研修を行った結果、その後の授業で実践する姿や実践している授業を参観する教員の姿が多く見られた。
・本校では「GIGAWEEK」週間を設け、該当クラスの授業担当者は必ず端末をクラスの生徒全員に使用させるような授業内容を考え実践した。この取り組みは大変効果的であった。

課題

・生徒が1人1台毎時間端末を持っている状況で年間を通してどのように使用させていくかまだまだ模索している段階である。
・授業時間の確保や準備の手間などについてはまだまだ課題が残る。
・生徒の端末の持ち帰りも始まるが、どのように自宅で効果的に使用させていくかも考えていく必要がある。

校内研修のアイデア

- ・校内でGIGAスクールプロジェクトチーム(以下、GIGAスクールPT)を組織し、教科研修、校内研修を先導する。
- ・授業中効果的だった取り組みを共有し、教科や希望者、若プロ、全体で実際に体験し、やってみる。
- ・ICT初級者、上級者などに分けて各教員の実情に合わせた研修を実施する。
- ・一人一台端末を活用した授業の事例について学ぶ。
- ・研究授業を通して、効果的な活用か検証を行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

日常的にChromebookを活用した場면을授業の中で設定し、以下の効果的な活用をめざす。

- (1) 生徒の興味・関心を引き出す
- (2) 主体的、対話的で深い学び
- (3) 学力の向上

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	Chromebook、ロイロノートの基本的な使い方について [新任者および希望者研修]	GIGA校内 研修推進 リーダー	
5月	初級者研修「GoogleWorkspaceの基本的な活用」 [初級者、若プロおよび希望者研修]	GIGAスクールサ ポート課 GIGA校内研修 推進リーダー	GIGAWEEK
6月	校内事例共有研修① [教科、若プロおよび希望者研修]	GIGAスクー ルPT	
7月			
中間 目標	全教員が基本的なスキルを習得し、実践事例を積極的に共有し、共有した事例を実践できる基本的素養を育む。		
8月	校内事例共有研修② [教科、若プロおよび希望者研修]	GIGAスクー ルPT	
9月	研究授業① [教科研修]	各教科	
10月	「一人一台端末時代の授業づくり」 [全員研修] 研究授業② [教科研修]	GIGAスクールサ ポート課、GIGA 校内研修推進 リーダー、各教科	
11月	校内事例共有研修③ [教科、若プロおよび希望者研修] 研究授業③ [教科研修]	GIGAスクー ルPT 各教科	
12月	研究授業④ [教科研修]	各教科	GIGAWEEK
中間 目標	全教員が生徒の一人一台端末のより効果的な活用に向けて授業づくりを行っている。		
1月	研究授業⑤ [教科研修]	各教科	
2月	校内事例共有研修④ [教科、若プロおよび希望者研修]	GIGAスクー ルPT	GIGAWEEK
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立寺井高等学校

GIGA校内研修推進リーダー 上野 露夢

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・若プロ対象者のChromebook活用場面が増えた。 ・ベテラン教員からのChromebookに関する問い合わせが増えた。 ・様々なアプリケーションを授業の場面に応じて使い分けられる教員が増えた。 ・オンライン会議やオンライン配信等を活用して、コロナ禍でも教育効果を高める実践ができた。 ・教職員全体でChromebook活用を推進しようとする動きが見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Chromebook活用による教育効果の検証が必要。 ・生徒及び教職員のデジタルデバインド(情報格差)が生まれている。パディシステムだけでなく、各教科や各分掌で困った時にすぐに頼れる組織づくりが必要。 ・授業支援ツールの導入が必要。 ・授業や校務において、校務用パソコン、Chromebook、iPad、スマホ(個人)等の様々なツールの使い分けが必要。

校内研修のアイデア	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業『教育効果を高める活用と評価方法』 全教員 : 振り返りシートの活用 GIGA推進担当(各教科一人) : 月に1回公開授業もしくは授業報告(teamsに掲載) GIGA推進担当以外 : 学期に1回公開授業もしくは授業報告(teamsに掲載) ・校務『働き方改革(業務改善)とペーパーレス化(データ管理)』 GIGA推進担当(各分掌の主任) ・ICT支援員 デジタルデバインド(情報格差)是正に向けて、個別支援の充実を図る 個別支援希望調査(毎月) ・校内研修 職員会議後のミニ研修(授業や校務で活用できるアイデアの共有) 定期調査期間中の校内研修(各教科・各課での実践報告) GIGAスクールサポート課による研修 MeetやTeams、Zoomの活用したオンライン会議の推進(教科会、若プロ研修、職員朝礼、全体研修、職員会議) 	

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」	
<ul style="list-style-type: none"> ・全教員 (授業及び校務) Chromebookを活用できる。 ICT支援員とコミュニケーションをとり、連携して業務にあたることできる。 ・GIGA推進担当 (授業) 教育効果を高める活用法を実践し、共有している。 (校務) 働き方改革(業務改善)につながる活用法を実践し、共有している。 ・GIGA推進リーダー (授業) 観点別学習状況の評価に関するChromebookの活用方法を身に付けている。 (校務) ペーパーレス化を推進し、適切なデータの管理方法を身に付けている。 	

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	★目標設定(年間及び学期)	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	
5月	ミニ研修①「振り返りシートの活用」	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	1学期中間考査 職員会議後のミニ研修①
6月	ミニ研修②「校務用パソコン、Chromebook、iPadの使い分け」	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	職員会議後のミニ研修② ◎オンライン会議(教科会)
7月	ミニ研修③「Googleアプリの活用」 校内研修①「(授業及び校務)活用状況の共有①」 ☆振り返り(学期)	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	1学期期末考査 職員会議後のミニ研修③ 校内研修① ◎オンライン会議(若プロ)
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員 (授業及び校務) 校務用パソコン、Chromebook、iPadの使い分けができる。 ICT支援員に相談することができる。 ・GIGA推進担当 (授業) 教育効果を高める活用法を実践できる。 (校務) 働き方改革(業務改善)につながる活用法を実践できる。 		
8月	★目標設定(学期) 研修「Chromebookが授業及び教員の助けとなる便利な機能や活用法の紹介」	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	研修(GIGAスクールサポート課) 研修(ICT支援員) ◎オンライン会議(職員朝礼)
9月	ミニ研修④「教育効果を高める活用法(1)」	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	職員会議後のミニ研修④
10月	ミニ研修⑤「働き方改革(業務改善)につながる活用法(1)」 校内研修②「(授業及び校務)活用状況の共有②」	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	2学期中間考査 職員会議後のミニ研修⑤ 校内研修② ◎オンライン会議(全体研修)
11月	ミニ研修⑥「教育効果を高める活用法(2)」	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	職員会議後のミニ研修⑥
12月	ミニ研修⑦「働き方改革(業務改善)につながる活用法(2)」 校内研修③「(授業及び校務)活用状況の共有③」 ☆振り返り(学期)	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	2学期期末考査 職員会議後のミニ研修⑦ 校内研修③
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員 (授業及び校務) Chromebookを活用できる。 ICT支援員に授業支援してもらうことができる。 ・GIGA推進担当 (授業) 教育効果を高める活用法を発表できる。 (校務) 働き方改革(業務改善)につながる活用法を発表できる。 		
1月	★目標設定(学期) ミニ研修⑧「授業実践の共有(1)」GIGA推進担当以外	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	職員会議後のミニ研修⑧
2月	ミニ研修⑨「授業実践の共有(2)」GIGA推進担当以外 校内研修④「(授業及び校務)活用状況の共有④」	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	学年末考査 職員会議後のミニ研修⑨ 校内研修④
3月	ミニ研修⑩「授業実践の共有(3)」GIGA推進担当以外 ☆振り返り(年間及び学期)	管理職 GIGA推進担当 ICT支援員	職員会議後のミニ研修⑩

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
クラス配置時のChromebook運用体制を確認できた。 朝補習や授業などの生徒の学習場面でのChromebook活用が増えた。 アンケート等がGoogleフォームなどに置き換わり、校務が効率化された。	Chromebookを活用できる教員が限定的で、授業によって活用に差がある。

校内研修のアイデア

- Teamsなどを利用して、普段使いのChromebook活用の授業を予告し、随時活用授業の参観を行ってもらおう。
- 教務課と連携して、活用事例の蓄積を行う。(Googleフォームでアンケート、スプレッドシートで共有提示)
- Teams上に簡単なQ&Aコーナーを設け、気軽に質問できる雰囲気や体制を整える。(必要に応じて、実践的な研修を開講していく。)

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ①Chromebookを活用した調べ学習やプレゼンテーション活動によって、個々の探究心に基づく活動が増え、主体的な学びに
- ②Classroomやロイロノートを活用して、共同編集や共有を行う活動が増え、協同的で対話的な学びに
- ③①②を通じて、知識を吸収するだけでなく、自ら進んで駆動させ活用できる深い学びに。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGAスクール構想の全体像についての説明会[全体] 動画視聴による研修(ステージ3)[個人]	校長 推進委員	4/26(火)GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	活用教員の授業実践を拡散[授業参観] 「端末操作」相談会(随時)[個人] 動画視聴による研修(ステージ3)[個人]	推進委員	5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	活用教員の授業実践を拡散[授業参観] 活用初級講座[グループ] 「端末操作」相談会(オンラインQ&A)[個人]	推進委員	
7月	進捗状況の把握確認のための共有協議[グループ] 「端末操作」相談会(オンラインQ&A)[個人]	推進委員	
中間 目標	全ての教員が、1回はChromebookを活用した授業を行っている。		
8月	活用場面別研修[グループ] 「端末操作」相談会(随時)[個人]	推進委員	
9月	活用教員の授業実践を拡散[授業参観] 「端末操作」相談会(オンラインQ&A)[個人] 活用場面検討会議[教科別]	推進委員	9/14(水)GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	活用教員の授業実践を拡散[授業参観] 「端末操作」相談会(オンラインQ&A)[個人] 活用場面検討会議[教科別]	推進委員	
11月	活用教員の授業実践を拡散[授業参観] 「端末操作」相談会(オンラインQ&A)[個人] 活用場面検討会議[教科別]	推進委員	
12月	活用教員の授業実践を拡散[授業参観] 「端末操作」相談会(オンラインQ&A)[個人] 活用場面検討会議[教科別]	推進委員	
中間 目標	全ての教員が、1回はChromebookを活用した授業を行っており、各教科で効果的な活用場面や方法論が議論できている。		
1月	活用教員による活用力向上研修[グループ] 活用場面別研修[グループ]	推進委員	
2月	各教科の実践報告会[全体] 活用場面別研修[グループ]	推進委員	
3月	次年度に向けて[全体] 活用場面別研修[グループ]	推進委員	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(翠星高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(角谷 竜一、金田 侑也)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明会[全体] 動画視聴による研修(未受講者)[個人]	推進リーダー	GIGA校内研修推進リーダー研修(4/26)
5月	端末の基本操作についての研修①[学年] 動画視聴による研修(未受講者)[個人]	推進リーダー、学年担当	GIGA校内研修推進リーダー研修(5/17)
6月	端末の基本操作についての研修②[全体]	推進リーダー、若手PT	第2回授業研究週間(6/7~6/18)
7月	若手PT実践発表会・報告[若プロ]	推進リーダー、若手PT	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・教員が安心して生徒1人1台端末を使用できる環境を整える。 若手PTのメンバーが授業等で生徒1人1台端末を活用できる。 		
8月	若手PT実践発表会・報告[全体]	推進リーダー、若手PT	
9月	生徒1人1台端末の活用研修[全体]	推進リーダー、若手PT	GIGA校内研修推進リーダー研修(9/14)
10月	効果的なICT活用についての協議[教科会]	推進リーダー、教科会	
11月	若手PT勉強会・情報共有[若プロ]	推進リーダー、若手PT	第2回授業研究週間(11/9~11/26)
12月	若手PT実践発表会・報告[全体]	推進リーダー、若手PT	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> 若手PTによるICT活用実践が共有できるレベルに達する。 全教員が授業等で生徒1人1台端末を活用できる。 		
1月	外部講師による校内研修[全体]	推進リーダー	課題研究発表会
2月	効果的なICT活用についての協議[若プロ]	推進リーダー、若手PT	
3月	実践のまとめ[全体] 次年度に向けて[全体]	推進リーダー	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 「タブレット等のICT機器の基本的な操作を習得して、授業で活用できるようになった」という項目で、全教員の約83%のから肯定的な評価が得られた。 今年度、自身の授業や課外活動等で生徒一人一台端末を活用したことがある教員は、全体の4割程度であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒1人1台端末の活用に、教員やクラスで差がある。 ログインできない生徒がいることや、生徒の操作スキルに差があることで活動が進まない現状にある。 端末の管理や使用上のルール、モラル指導についても見直す必要がある。

校内研修のアイデア

<ul style="list-style-type: none"> 推進リーダーと若手教員によるプロジェクトチーム(若手PT)が実績を蓄積し、全体に広める校内研修を行う。 日常的OJT研修を活用して、生徒1人1台端末の使用を推進する。
ステップ1:環境の整備と基本操作の習得
ステップ2:生徒1人1台端末の活用の実践
ステップ3:効果的な活用に向けての情報共有と授業改善

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

<ul style="list-style-type: none"> 生徒・教員が安心・安全に、生徒1人1台端末を使用できる環境が整っている。 全教員が授業等で生徒1人1台端末を活用することができる。 ICTの効果的な活用について情報を共有し、授業改善を組織的に行っている。
--

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・使い方がわかり授業で実践する者もいた。 ・校内研修でもクロムブックを使用している。 ・Classiと関連を持たせ、生徒にも身近な存在を意識させ、利用コンテンツも増えつつある。 ・FormsをはじめとしたGoogleのアプリを校務で活用するものが増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・温度差があり、使わない教員と使う教員がいる。 ・苦手意識のある教員に対するアプローチが難しい。 ・教科や校務で使える教材・コンテンツが少ない。

校内研修のアイデア

- ・若プロ(若手教員によるプロジェクトチーム)を中心とし、実践を積み重ねる。
- ・Google meetを利用し、一堂に会することがなくても職員全体に対してgoogleの活用以外の説明会や講習会を開催。
- ・教員の1人1台クロムブックが実現しているため、meetを活用しての一斉配信、パソコンも併用してエクセル等のファイル説明等にて理解を深める。
- ・Formsを活用し、アンケート等の入力をスムーズに行う。また、集計にはスプレッドシートを活用し、作業を簡素化かつ合理化する。
- ・生徒個別面談での動画視聴及びアンケート等、生徒も巻き込んでクロムブックを活用するムード作りも取り入れる。
- ・生徒の家庭での活用を意識して、クラスルームの具体的な実践事例を積み重ねる。
- ・職員は校務でもGoogleアプリを活用し、アプリに慣れるようにする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

<生徒>

- ・協働的な学習及び、Classi等で利用した個別最適化学習を通して能動的に学習に取り組む。

<教師>

- ・教科指導等で1人1台端末を利用し、協働学習及び個別学習を行うことができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	新たな授業づくりに向けて研修等[meetにて実践]	推進リーダー	公開授業
5月	実践取り組み事例の発表を行い、コンテンツの共有化を推進[meetによる研修]	推進リーダー 若プロ	
6月			
7月	1学期の1人1台端末使用状況を確認し、今後の展開を検討[全体研修]	推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1回はクラスルーム等を活用し、生徒への課題やテストの配信を行う。 ・生徒の利活用状況を集約し、意識向上を目指したコンテンツを紹介する。 		
8月	1人1台端末の有効活用に向けて、他校の実践例を紹介等の研修[meet・Jamboard等]	推進リーダー	
9月	効果的なICT活用を目指した実践事例紹介[meetによる全体研修]	推進リーダー 若プロ	公開授業
10月			
11月	PT教員との連携、及び、実践取り組みの紹介により、コンテンツの充実を促進[小グループ]	推進リーダー PT教員	
12月	2学期に取り組んだ実践について全体で共有[全体研修]	推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が能動的に活用できる場面設定を意識し、クラウドの共有スペースの利用を行う。 ・普段使いの1人1台端末を目指す。 		
1月	生徒1人1台端末の活用事例発表[全体]	推進リーダー	
2月	効果的なICT活用についての協議[若プロ]	推進リーダー 若プロ	
3月	実践のまとめ[全体]	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(野々市明倫高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(山森 啓弘)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・授業の実践を重ねた先生は、ずいぶんこなれてきた。
- ・chromebookで出来ることと出来ないこと、難しいことなどの切り分けや、問題点のあぶり出しができています。
- ・ほぼ全ての授業のclassroomが生成され、全ての先生が使い方や作り方の基本を理解した。
- ・個別指導にも活用することで効率よく指導ができた。

課題

- ・授業で使用する機会の少ない先生は習熟度が低い。
- ・教科によって使いやすさに差があり、習熟度にむらがある。
- ・発展的な使い方をするためにも、教科ごとの研修が必要になりつつある。

校内研修のアイディア

- ・教育センターの出張講習などを活用し、教科毎に専門的な研修を行う。
- ・一定以上のスキル習得を目指し、希望者に基礎的内容を含む講習を行う。
- ・カレンダーやkeep機能、チャット機能などの多忙改善につながるアプリに関する全体講習を行う。
- ・ICT授業を行う授業をお互いに見て参考にしてもらうことを目的に、先生方に自分のICTを使用する授業をマーキングしてもらう。これによりICT支援員のサポートが受けられやすくなるメリットもある。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全ての先生が授業内でChromebookを使用し意見の共有を行うなどの一定以上のスキルを有している。
- ・動画撮影の活用や録音の活用、テレビ会議の活用など教科毎に工夫した授業実践を行っている。
- ・個別最適化された課題を提示できる授業が少数ある。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・新たな授業づくり研修[動画研修]	GIGA推進リーダー	4/26 GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	・GIGA推進チームミーティング ・情報モラルについての校内研修 ・「授業実践サポート」(随時)	GIGA推進リーダー・チーム	5/17 GIGA校内研修推進リーダー研修 中間試験期間
6月	・「授業実践サポート」(随時) ・各科目ごとの出張研修①・・・	GIGA推進チーム	
7月	・ICT互見授業 ・「授業実践サポート」(随時)	GIGA推進チーム	期末試験期間
中間目標	教科毎の専門的な研修を経て、これまで以上に工夫された授業の形を模索している授業がある。		
8月	・「授業実践サポート」(随時)	GIGA推進チーム	夏休み
9月	・「授業実践サポート」(随時) ・各科目ごとの出張研修②・・・	GIGA推進チーム	9/14 GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	・「授業実践サポート」(随時) ・ICT互見授業	GIGA推進チーム	中間試験期間
11月	・「授業実践サポート」(随時)	GIGA推進チーム	
12月	・「授業実践サポート」(随時)	GIGA推進チーム	期末試験期間
中間目標	教科毎に工夫された活用を行う授業が散見される。 個別最適化された課題を試験的に提示する授業がある。		
1月	・「授業実践サポート」(随時)	GIGA推進チーム	
2月	・「授業実践サポート」(随時)	GIGA推進リーダー・チーム	2/24 GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告書メク
3月	・「授業実践サポート」(随時)	GIGA推進チーム	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

学校名(石川県立)(金沢錦丘高等学校)

GIGA校内研修推進リーダー 氏名(宮田毅一郎 東拓郎 清田諒)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・全生徒が、「総合的な探究の時間」の成果をデジタルベースでまとめられるようになった。
- ・全担任が、LH時などの学習や活動の場面でICTを活用する機会を与えている。
- ・多くの教職員が、担当する教科で「生徒が1人1台端末(Chromebook)を活用して学ぶ授業」を実践した。
- ・「ビデオ会議」「動画や資料の閲覧」ICTを活用した研修に参加した。(9月29日に実施した校内研修など)
- ・GIGAスクール構想モデル校(野々市明倫、大聖寺、鹿西)の公開授業も積極的に参観に行った。

課題

全教員のITリテラシーはまだ個々の技量の差も大きい。本校では授業でiPadを使う人が多いが、それでもChromebookの生徒の利用の指導がまだという方も多く、下記のような問題が挙げられる

- ・ICTの活用シーンが思い浮かばない
- ・機器やネットワークの仕様書を理解できない
- ・トラブルが起きたときの解決策がわからない
- ・研修など、教員同士の知識共有が起きづらい

今後、教員のITリテラシー向上に当たり、研修をはじめとした教員へのサポート環境を整えることが求められている。

校内研修のアイデア

- ・1年生「情報Ⅰ」において授業の中で「情報モラル」の指導実施し、それを踏まえた授業を計画する。[情報担当者]
(今後、単元やPC実習時にも情報モラルについて触れていく予定)
- ・プロジェクトチーム(PT)による実践の蓄積。(年間を通して随時)
- ・「ビデオ会議」「動画や資料の閲覧」ICTを活用した研修。
- ・その他、推進リーダー研修を踏まえた内容

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

時間的・空間的な制約を受けず、多様な情報を双方向で瞬時にやりとりできるというICTの特性を活かし、日常的にICTを活用しながら、主体的・対話的で深い学びを実現を目指す。本校として

- ・生徒の一人一人の反応を踏まえた双方向型の一斉学習
 - ・一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習
 - ・各自の考えを即時に共有し、多様な意見に触れる協働学習
- を3本柱として推進を目指す。

特に、高校生として授業はもちろん、家庭学習もさらに重要になることから、学校内外の様々な場でICTを活用し、高い学習意欲を持って自立した学びを実現を目指す。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・動画視聴による研修(ステージ1・2)[個人(該当者):新たな授業づくり研修]	・推進リーダー	4/26(火)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修①
5月	・動画視聴による研修(ステージ3)[個人(該当者):新たな授業づくり研修] ・年間研修計画についての説明(職員会議時) ・自主勉強会(GIGA担当者主催)	・推進リーダー	5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修②※年間計画持参
6月	・勉強会[グループ・個人] ・「端末操作」個別相談(随時)[グループ・個人]	・推進リーダー	自主研修(考査期間) 6月6日(月)新たな授業づくり研修受講状況報告締切
7月	・「端末操作」個別相談(随時)[グループ・個人]	・推進リーダー	PT教員研究授業
中間目標	初任者や昨年「新たな授業作り研修」対象外だった方は「使ってみる・慣れてみる」 ・上記を含む全教員が端末(Chromebook)の基本操作を取得する。 ・全教員が数・国・理のPT3人の通常授業や研究授業を見学し、各自実践を重ねていく。		
8月	・「総合的な探究の時間」でのICT活用について[全体] ・「端末操作」個別相談会(随時)[個人]	・推進リーダー	
9月	・「総合的な探究の時間」でのICT活用について[全体] ・「端末操作」個別相談会(随時)[個人] ・探究活動(SSHなど)視察・発表会見学など[該当教科]	・推進リーダー ・各教科担当者 ・PT教員	9/14(水)GIGA校内研修推進リーダー研修③ ※発表資料持参 PT教員研究授業
10月	・勉強会(随時)[グループ・個人] ・PT教員による校内研修[全体]	・推進リーダー ・各教科担当者 ・PT教員	PT教員研究授業
11月	・効果的なICT活用について[各教科] ・勉強会(随時)[グループ・個人] ・探究活動(SSHなど)視察・発表会見学など[該当教科]	・推進リーダー ・各教科担当者 ・PT教員	PT教員研究授業
12月	・「総合的な探究の時間」成果発表会において[各学年会]	・推進リーダー ・探究担当者	「総合的な探究の時間」成果まとめ 1年課題研究ポスター発表
中間目標	「授業で活用する」 ・担当教員が「総合的な探究の時間」でICT活用について指導できる。 ・全教員が、教科の授業で最低1回は1人1台端末を利用している。 ・数・国・理のPT3人による実践例が共有できる・実践レベルに達する		
1月	・「総合的な探究の時間」成果発表会において[1・2学年会]	・推進チーム ・探究担当者	「総合的な探究の時間」成果まとめ(1・2年)
2月	・実践のまとめ[全体]	・推進チーム ・探究担当者	2年課題研究発表(最終発表)
3月	・次年度に向けて[全体]	・推進チーム	2/24(金)GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告締切

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(金沢泉丘高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(東野 真之)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

ICT機器対応に長けた教職員がいる。
授業でICT機器を使用する教員がかなりいる。
探究活動で生徒はPCの使用に慣れている。
校内研修で全教員が授業でChromebookを使用した。

課題

ICT機器に不慣れな教員もいる。
普段からChromebookを利用している教員は一部である。

校内研修のアイデア

1学期にGIGA出前サポート研修を行い、Chromebook活用の知識を増やす。各教科の特性に応じた活用法を学べるように、指導主事と打ち合わせをし、教員のニーズに合わせた研修が実施できるようにする。
2学期には、教科内で3~4名のチームをつくり、チーム内で一人一人が研究授業を行うこととする。その際のテーマは「1人1台端末を活用した本質に触れる授業」として、Chromebookの活用を促していく。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

全教職員が、ICTを活用した授業を行うことができる。
ICTを活用することで教材の共有を図る。
コロナ対応として授業のオンライン化に向けての準備ができる。
1人1台端末を活用することで生徒に個別最適な学びを提供する。
本校の生徒に合ったICT活用の手法を見出す。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	各自、個人で授業実践	推進リーダー	
5月	Chromebook活用研修(5月18日など)	教員総合研修センター	
6月	1人1台端末を活用した本質に触れる授業	推進リーダー	
7月	各自、個人で授業実践	推進リーダー	
中間目標	Chromebook使用にあたっての課題を把握する		
8月	校内研修のグループ作成 各自、個人で授業実践	推進リーダー	
9月	各自、個人で授業実践 PT教員から学ぶ研修	推進リーダー	
10月	各自、個人で授業実践 PT教員から学ぶ研修	推進リーダー	
11月	各自、個人で授業実践 授業参観	推進リーダー	
12月	各自、個人で授業実践	推進リーダー	
中間目標	効果的なChromebook活用ができる		
1月	各自、個人で授業実践	推進リーダー	
2月	他教科に授業実践の報告(資料の提示、ファイルの共有)	推進リーダー	
3月	個人または教科で、次年度に向けて振り返り・提案	推進リーダー	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
Chromebookを用いて、Google Workspace for Education (以下GWfE) の各種ツールやロイロノートなどを活用した授業実践が見られ、生徒が、協働学習や個別学習にICTツールを利用できた。また、教員の約8割が、生徒が端末を使う授業や補習を実施した。	ICTの活用について、5割の教員が不安を感じている様子であり、特に「ICTに関する知識技能の不足」、「授業での活用のイメージがわからない」の2点についての意見が多く、この不安を解消したい。 1人1台端末の活用が進む中、生徒の情報モラル、健康被害や教員の個人情報、著作権など取り扱いに加えて、生徒を取り巻くICT環境について、教員が学ぶ必要がある。

校内研修のアイデア

[方針]
前・中・後期で1人1台端末を活用した授業について「知る」、「深める」、「実施する」と段階的に目標を発展させる。
・とにかく授業で使用し、慣れることで、授業での活用のアイデアを深める。
・生徒が常にChromebookを使える状況にし、まずは生徒が慣れ、授業での使い方や準備に使う時間を減らす。

[方策]
全教員は1人1台端末を使用した授業実践を行う。
教科会を主とした1人1台端末の活用についての研修を進める。
・教科内で研修担当を1〜3名決め、教科内協議の司会を任せる。
・教科内で1人ずつ、月に一度、授業での活用動画を5分程度撮影し、教科会で協議を行う。また、学校全体で共有する。
・教科内で1人1台端末を活用した研究授業を年2回実施する。
基本的な知識技能や生徒を取り巻くICT環境についての情報提供を継続的に実施する

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

多くの生徒がGoogle Workspace for EducationなどのICTツールを活用する授業を受けている状態にする。
生徒自身が、端末を新たな学びのツールとして自由な発想で適切に活用できる。
・生徒が、個々の見方や考え方を共有した話し合いにGWfEなどのICTツールを活用する。[協働的な学び]
・生徒が、GWfEなどのICTツールに蓄積した学習内容を、家庭での学習に活用する。[個別最適な学び]

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	「新たな授業づくり研修」ステージ1,2 [オンデマンド]	教頭	
5月	全教員の授業実践 [OJT] 活用方法について知る [教科会協議]	教科 教科	授業 教科会
6月	全教員の授業実践 [OJT] 1人1台端末の活用方法について共有 [教科会協議] 1人1台端末を活用した授業について知る [研究授業]	教科 教科 教務、各教科	授業 教科会 相互参観授業
7月	1人1台端末を使用した授業を実践する [OJT] 1人1台端末の活用方法について共有 [教科会協議] 実践事例の共有 [動画]	教科 教科 教科	授業 教科会 教科会、職員会議
中間 目標	全教員が一度は1人1台端末を使用した授業を担当教科で実践し、活用の方法について知る。 全教員が1人1台端末を活用した研究授業に参加し、活用の方法について知る。		
8月	1人1台端末を活用した授業について知る [講義]	情報担当	情報資産管理研修会
9月	全教員の授業実践 [OJT] 1人1台端末の活用方法について共有 [教科会協議] 実践事例の共有 [動画]	教科 教科 教科	授業 教科会 教科会
10月	全教員の授業実践 [OJT] 1人1台端末の活用方法について共有 [教科会協議] 実践事例の共有 [動画]	教科 教科 教科	授業 教科会 教科会
11月	全教員の授業実践 [OJT] 1人1台端末の活用方法について共有 [教科会協議] 1人1台端末を活用した授業について深める [研究授業]	教科 教科 教務、各教科	授業 教科会 相互参観授業
12月	全教員の授業実践 [OJT] 1人1台端末の活用方法について共有 [教科会協議] 実践事例の共有 [動画]	教科 教科 教科	授業 教科会 教科会、職員会議
中間 目標	全教員が1人1台端末を使用した授業を担当教科で実施し、活用の方法について深める。 全教員が1人1台端末を活用した研究授業に参加し、活用の方法について深める。		
1月	全教員の授業実践 [OJT] 1人1台端末の活用方法について共有 [教科会協議] 実践事例の共有 [動画]	教科 教科	授業 教科会 教科会
2月	全教員の授業実践 [OJT] 1人1台端末の活用方法について共有 [教科会協議] 実践事例の共有 [動画]	教科 教科 教科	授業 教科会 教科会、職員会議
3月	全教員の授業実践 [OJT] 1人1台端末の活用方法について共有 [教科会協議]	教科 教科	授業 教科会

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(金沢伏見高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(鈴木 信行)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
多くの教員が端末を授業で活用しようと取り組んでいた。 活用できる教員は、意欲的にどんどん活用していた。	端末を活用できない教員が置き去りになっている。 教員には1人1台ではないので、手軽に使うことができない。 同じ棟に並んでいる4クラスのChromebookを同時に充電しようとする、ブレーカーが落ちてしまうので、1日おきに2クラスずつしか充電できない。

校内研修のアイデア

教員の「困り感」を吸い上げて、各自の必要に応じて希望者別の研修を実施する。
GIGA推進プロジェクトチームが、生徒の学習意欲が高まる具体例、学力向上につながる具体例、仕事の効率が高まる具体例などの「お得感」を追求し、それを伝えることで、他の教員のChromebookを活用しようという意識を高め、その使い方に関する研修を実施する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

生徒が校内だけではなく自宅においても、Chromebookを主体的に学ぶためのツールとして活用している。
各教員が、生徒一人一人の深い学びに向けて、効果的にChromebookを活用している。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・年間研修計画の案内・説明 [全体]	推進PL・PT	4/26(火) GIGA副校長・教頭研修、GIGA校内研修推進リーダー研修①
5月	・若プロ研修「1人1台端末を活用した授業づくりⅠ」【希望者含】 ・全体研修Ⅰ「情報モラルの育成」	推進PT・若プロ 推進PL	5/17(火) GIGA校内研修推進リーダー研修② ※GIGA校内研修年間計画持参
6月	・若プロ研修「1人1台端末を活用した授業づくりⅡ」【希望者含】 ・推進モデル校・中学校の視察(第1回) [希望者]	推進PT・若プロ 推進PL	
7月	端末操作個別相談会Ⅰ [希望者]	推進PT、支援員	
中間目標	全教員が、授業で端末を使ったことがある。		
8月	・全体研修Ⅱ GIGA出前サポート等の活用	推進PL	
9月	推進モデル校・中学校の視察(第2回) [希望者]	推進PL	9/14(火) GIGA研修推進リーダー研修※前期の取組を総括した発表資料持参
10月	全体研修Ⅲ 前期の振り返り・他校の先進事例勉強会	推進PL	
11月	端末活用個別相談会Ⅱ [希望者]	推進PT・支援員	
12月	・若プロ研修「1人1台端末を活用した授業づくりⅢ」 ・全体研修Ⅳ GIGA出前サポート等の活用	推進PT・若プロ 推進PL	
中間目標	全教員が生徒の資質能力向上に向け、授業での効果的な端末の活用について考えている。		
1月	端末活用個別相談会Ⅲ [希望者]	推進PT・支援員	
2月	・若プロ研修「1人1台端末を活用した授業づくりⅣ」【希望者含】 ・実践報告まとめ	推進PT・若プロ 推進PL・推進PT	2月24日実践報告提出締切
3月	・次年度に向けての検討	推進PT・推進PL・管理職	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(金沢辰巳丘高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(熊切 道人)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	1人1台端末についての説明とセットアップ【職員会議】	熊切 関口 深浦	
5月	年間研修計画についての説明会【全体研修1】	熊切 関口 深浦	5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修*年間計画持参
6月	授業研究(GIGAスクールライブラリ)【チーム・個人】 公開授業(随時)【チーム・個人】	熊切 関口 深浦	
7月	公開授業(随時)【チーム・個人】 先進校等視察・PT教員公開授業参観【個人】 職員会議後の研修(CLASSSIの有効活用)【全体研修2】	熊切 関口 深浦	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が、端末を使用し、自分の考えを表現し他者と共有するスキルを習得している。 全教員が、ICT機器を情報活用・言語活動・協同学習などの場面で授業に取り入れている。 		
8月	1学期実践事例の報告【全体研修3】 2学期公開授業にむけて(随時)【チーム】 職員会議後の研修【全体研修4】	熊切 関口 深浦	
9月	公開授業(随時)【チーム・個人】 先進校等視察・PT教員公開授業参観【個人】	熊切 関口 深浦	9/14(木)GIGA校内研修推進リーダー研修*グループ協議：前期の取組を終えて
10月	公開授業(随時)【チーム・個人】 先進校等視察・PT教員公開授業参観【個人】 授業研究(GIGAスクールライブラリ)【チーム・個人】	熊切 関口 深浦	
11月	公開授業(随時)【チーム・個人】 先進校等視察・PT教員公開授業参観【個人】 職員会議の研修【全体研修5】	熊切 関口 深浦	
12月	2学期実践事例の報告と振り返り【チーム・全体研修6】 学年末に向けて【チーム・個人】	熊切 関口 深浦	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が、他者と協同制作・相互評価するスキルを習得している。 全教員が、生徒用端末を効果的に授業に組み込んだ指導を行うことができる。 		
1月	公開授業(随時)【チーム・個人】	熊切 関口 深浦	
2月	公開授業(随時)【チーム・個人】 今年度の振り返り【個人・チーム・若プロ・全体】	熊切 関口 深浦	
3月	来年度にむけて【全体】	熊切 関口 深浦	2/24(金)GIGA校内研修報告書締切

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
【生徒】 基本的な端末操作ができるようになり、授業中に使うことに慣れた。予習・復習をする生徒の割合が10年ぶりに増加した27.4%(R2)→38.0%(R3) 【教員】 全教員が意識しながら生徒用端末を利用した授業改善を継続的に行った。	【生徒】 ・授業の理解にまで繋がっていない。 ・授業へ集中できない生徒が増えだしている。 ・端末操作(キーボード入力、アプリ操作)に対応できない生徒が一定数いる。 【教員】 生徒用端末のより効果的な授業への組み込みが必要。

校内研修のアイデア

- ①生徒用端末を授業で「使う」から、「効果的に組み込む」ことが必要。
 - ・授業での使い方に課題が散見された。ベテラン教員は機器やアプリケーションの特性に不慣れなため、若手教員は授業実践経験の不足のためと考えられる。
- ②若手・ベテランの長所を相互に活かす環境をつくる。
 - ・R3年度のチームを教科単位にし、教科としての実践を蓄積するとともに、若手とベテランの情報交換等を促す。(人数が少ない教科は複数教科で1チームとする。)
 - ・端末やアプリケーションの使い方、授業アイデアに関する研修や科会を実施する(年間を通して随時)。
 - ・学校全体での実践報告や情報の共有は、職員会議後の10分間研修やteamsを活用する。
- ③生徒の変容や習熟度の共有、端末を上手に使いこなす生徒の把握、機器の使い方のルールの更新、情報モラル教育を行う(年間を通して随時)。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全生徒が、自分の考え(授業などの課題、成果物、制作物)を、他者との共有・協同制作・相互評価を通し、発展させることができる。
- ・全教員が、授業のさまざまな場面で、ICTを効果的に活用した指導を行うことができる。

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(金沢商業高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(荒木田 正人)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> Teamsを利用し、教職員間の情報共有をスムーズに行うことができるようになった。 各種アンケートをGoogle Formsで実施し、業務の効率化が進んだ。 Google classroomを利用し休校時に生徒への連絡・学習課題の配布などを行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> クロームブック・iPad・デスクトップ型パソコンでのデバイスの特徴を理解し、併用していく必要性がある。 パスワード管理の重要性や情報モラルについて指導をしていく必要性がある。 校内研修への参加者が一定の人に限定されていた。

校内研修のアイデア

- 各先生方が授業で実践して得た、「うまくいった事例」や「うまくいかなかった事例」を集約し、短時間で協議を行う。
- 各種アプリケーションの使い方の研修は青山学院中等部講師安藤昇氏のユーチューブチャンネルなどの動画教材を利用する。
- 全体研修前に各教科等で代表者を選出し少人数で研修を行い、全体研修ではサポート役に回ってもらう。
- 全体研修では操作方法のレクチャーではなく、教員1人1人(もしくは教科ごとに)Googleフォームを利用しての小テストの案などの課題準備し、その課題の作成に取り組む時間とする。
- 生徒にとって学びとなるインターネット上の動画やニュース記事などを、Googleクラスルームを通し定期的に発信し、生徒がICT機器を学習目的で使用する習慣を付けさせる。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【教員の目標】

- 長期休暇期間中や学校に登校できない生徒に対し、『授業のライブ配信や課題の配布などの学習機会の提供』をスムーズに行うことができる。
- 各種アプリケーションの特徴を理解し、(ロイロノート・ジャムボード・スライド・ドキュメント等)授業の中で、『生徒の意見を収集し、全体に共有』することができる。また、『生徒同士が、協働して学習』に取り組めるよう指示することができる。
- 授業の中の、『どの単元でどのようにICT機器を活用すれば効果的か』各教科で協議する。また、生徒がICT機器をどのように活用していくべきかについて協議し、学校全体で指導の統一を図る。

【生徒の目標】

- スマートフォンやクロームブックなどのスマートデバイスを『娯楽目的ではなく、学習を目的として活用する習慣』を身に付ける。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	情報処理室にある各種デバイスの利用方法について	島山	
5月	授業のライブ配信方法について iPadの利用方法について	荒木田	
6月	Googleクラスルーム・Googleドライブを利用した生徒への課題の配布・回収方法について	荒木田	
7月	小テスト・アンケートフォームの作成方法について(Google Forms)	荒木田	
中間目標①	夏休み期間中の学習課題や夏季補習、進路指導などをICTを活用し効果的に行うことができる。		
8月	ロイロノート・Google各種アプリケーションの利用方法について① [動画視聴・全体研修]	荒木田	
9月	ロイロノート・Google各種アプリケーションの利用方法について② [動画視聴・全体研修]	荒木田	
10月	授業実践・協議①	各教科	
11月	授業実践・協議②	各教科	
12月	授業実践・協議③	各教科	
中間目標②	ICTを活用し、生徒の多種多様な意見や考え方を引き出し、それらを他の生徒に共有し、協働的な学びとなる授業を実践できる。		
1月	授業実践・協議④	各教科	
2月	授業実践・協議⑤	各教科	
3月	各課・各教科ごとにまとめ・振り返り、次年度に向けての目標について	各課 各教科	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県) 立 (工業高等) 学校

GIGA校内研修推進リーダー (齋藤豊和)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想の実現に向けた取り組みに、管理職の理解があり積極的な支援や助言がある。 ・GIGAスクール運営委員会が設置され、校務分掌単位の小さなグループとの連携を図る仕組みが機能している。 ・Google workspace for Educationを活用するための校内における方針や仕組みが整備されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用Chromebookが全教員に貸与されておらず、生徒がChromebookを活用した授業の教材研究ができない。 ・勤務時間中に研修の時間をとることが困難で、企画しても他の校務が多忙であることから参加率が低い。 ・ICT機器の操作やネットワークサービスの使用に不慣れな教員が苦手意識から「メールを見ない」「アプリを開かない」などと利用機会が少なくなるために経験が得られにくい。

校内研修のアイデア

- ・定例職員会議の後に「5分間講習」を実施し、ICT関連やGIGAスクール構想の実現に向けた取り組み、生徒がChromebookを活用する授業をするための教材作りなどに関する情報などを伝えることで、教員の苦手意識を少しずつ和らげていく。
- ・全教員がGoogle Workspace for Educationの操作を練習する環境を設け、実際の操作をする前に生徒の立場での表示内容や操作方法等を事前に確認することで、安心して利用できるようにする。
- ・全教員がGoogle Workspace for Educationを利用した際に、Googleフォームで作ったアンケートにその内容を記録として投稿し、結果を集約したスプレッドシートの内容を事例紹介や実践報告として他の教員と情報共有できるようにする。
- ・授業で教材をプロジェクタで投影するなど教具としてICT機器を活用している教員が多いため、生徒に対しては授業の開始時と終了時にChromebookを開閉する習慣を作り、いつでも授業でChromebookが活用できるような環境を作る。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・教員は「授業開始時にChromebookの電源を入れる」、「授業終了時にChromebookの電源を切る」ことを生徒に対して指示して、Chromebookを活用しやすい授業展開を計画している。
- ・教員はGoogle classroomの課題作成機能を利用して授業の課題を投稿し、生徒は授業終了時に「課題の完了としてマーク」を押して、Chromebookを活用して本時の授業のふり返りを行っている。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	4/26 (火) 第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	5/17 (火) 第2回GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	授業公開期間
7月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	
中間目標	教員は「授業開始時にChromebookの電源を入れる」、「授業終了時にChromebookの電源を切る」ことを生徒に対して指示して、Chromebookを活用しやすい授業の計画を、月に1回以上している。		
8月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	
9月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	9/14 (水) 第3回GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	
11月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	授業公開期間 学校公開
12月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	
中間目標	教員は「授業開始時にChromebookの電源を入れる」、「授業終了時にChromebookの電源を切る」ことを生徒に対して指示して、Chromebookを活用しやすい授業の計画を、月に2回以上している。		
1月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	
2月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	2/24 (金) 実践報告提出
3月	5分間講習会・動画視聴等による研修 [グループ・個人] 端末操作・教材作成相談 [グループ・個人] 校内委員会や若プロでの実践 [グループ・個人]	推進リーダー 校内委員会 ICT支援員	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(県)立(金沢桜丘高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(金山 俊哉)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 研修や授業参観等を通して、授業でどのような使い方が効果的なのかを考えられるようになってきた。 調べ学習にとどまらず、成果物の共有や議論など探究型の要素を取り入れた授業実践が増えてきた。 授業以外に、部活動のミーティングで有効に活用できた例があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 端末を活用した実践をする教員に偏りがある。 生徒と同じ端末が教員に配付されていないことから、端末操作に不慣れな教員がいる。サポート体制が必要である。 端末を活用した探究型授業への転換を図る。実践する力量を全教員が身につける。 端末を活用して学校と家庭を結びつけた学習体制を構築する。

校内研修のアイデア

- 今年度の目標の共有、端末持ち帰りのルールや情報モラル等に関する共通理解の研修をする【全体研修】。
- 推進チームが中心になって実践的な使い方の例を各教科部会に紹介し、各教科会で 新たな活用例を検討する機会を年間を通して設ける【教科会】。
- 教員総合研修センターの出張講座を利用して、レベルにあった研修を行ってもらう【レベル別研修】。
- 苦手意識のある教員に対し、継続的に端末に触れる研修機会を設ける【レベル別研修】。
- Google Classroomに「桜丘GIGA研修」を開設し、リーダーによる情報発信、教員の実践報告、質疑応答等がいつでも、どこでもできるようにする【全体研修】。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 全教員が抵抗なくchromebookを用いて、教材の提示や検索サイトの利用、カメラ機能を利用した授業を実践できる。
- 全教員が、協働学習の場において意見を集約したり考察したことを発表・共有することにchromebookを利用する授業展開ができる。
- 全教員が、臨時休校や自宅待機等の期間中に、ライブまたはオンデマンド形式で授業の配信や質問対応等ができる。
- 端末の持ち帰りによって、学校と家庭での学習を結びつけ、深い学びとなる指導ができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	新たな授業づくり研修st1, 2(動画視聴)【個別】 ※未受講者対象 今年度の目標の共有【全体】	個人	4/26(火)GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	新たな授業づくり研修st3(動画視聴)【個別】 ※未受講者対象 情報モラル教育・他校の情報【全体】 授業のライブ・オンデマンド配信のノウハウ【全体】	個人 リーダー ICT支援員	5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修 5/25(水)PT教員全体協議会
6月	レベルに分けた「端末操作」勉強会【レベル別】 端末持ち帰りのルールと学校と家庭を結びつけた学び【全体】 PT教員の授業動画視聴(6~12月)【個別】	リーダー ICT支援員 PT教員	センター出前講座 PT教員オンライン教科協議会(6~12月に6回程度)
7月	端末操作に慣れる【個別】	個人 リーダー ICT支援員	PT教員公開授業(動画配信、1学期に1回、2学期に1回)
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> 全教員が端末の基本動作を完全に習得する。 全教員が授業のライブ・オンデマンド配信ができる。 		
8月	探究型の授業への転換【全体】 実践的な活用研修【教科会】	PT教員 各教科	
9月	実践的な活用研修【教科会】	各教科	9/14(水)GIGA校内研修推進リーダー研修 PT教員先進校等視察(9~12月に各教科2~3名)
10月	教科ごとの「効果的な活用法」勉強会【教科会】	リーダー 各教科	
11月	効果的な活用法について【各教科】	各教科	
12月	他校視察【個別】 効果的な活用法について【各教科】	希望者 各教科	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> 全教員が探究型の授業(協働学習の場においてchromebookを効果的に活用等)を実践できる。 学校と家庭を効果的に結びつけた、深い学習を実践できる。 		
1月	他校視察発表会【全体】 教科内実践例発表【教科会】	視察者 各教科	PT教員活用事例報告書作成(各校に送付)
2月	「効果的な活用例とその成果」発表会【全体】	全教員	2/24(金)GIGA校内研修実践報告
3月	今年度の振り返りと次年度に向けて【全体】	リーダー PT教員	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立金沢西高等学校

GIGA校内研修推進リーダー 倉 宗一郎

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> Googleクラスルームを用いて、ICT機器の効果的な活用に関する情報の共有を行うことができた。 共同編集が可能なアプリケーションの活用について校内研修を行い、chromebookの活用につながるよう配慮した。 1月には指導主事の先生方を招いて全体研修を実施し、実践的な活用方法について理解を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> chromebookの活用が特定の教員に限られている。割合としては4割程度である。今後も効果的な活用場面について、具体的な例を示しながら情報を発信していく必要がある。 生徒に対して情報モラルについての教育・指導が一層重要性を増すと考えられる。その点について、教員の共通理解を図る必要がある。

校内研修のアイデア

- 教員一人ひとりが、Googleクラスルーム「GIGA校内研修」にchromebookの活用事例に関する報告をアップロードする(1人1回以上)。
- 指導主事を招いて、chromebookに関する用途別研修を行う。
- 補習におけるchromebookの活用について、教科や学年で話し合う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 生徒が自分で調べたり、お互いの考えを共有したりする。
- 生徒が思考したり、考えたことを表現したりする時間や機会が多い。
- 生徒が学習内容と実社会とのつながりを知り、自ら学ぶ意欲を向上させていく。

上記の「学びの姿」の実現に向け、「答えの出し方や結論だけを覚えこむ受動的な生徒」ではなく、「自ら思考し、思考した内容を表現できる主体性な生徒」が育つ授業や補習を実践する。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月			
5月	chromebookを活用した授業実践および実践の共有[授業見学]	教科主任 学年主任 進路指導課 教務課	校内授業公開
6月	土曜補習でのchromebookの活用について[教科会・学年会] chromebookを活用した授業実践および実践の共有[授業見学] 指導主事を招いての用途別研修[全体研修]	教科主任 学年主任 進路指導課 教務課	校内授業公開 土曜補習
7月	夏季補習でのchromebookの活用について[教科会・学年会]	教科主任 学年主任 進路指導課	夏季補習
中間 目標	chromebook活用した実践をGoogleクラスルームにアップロードし、情報を共有する。主体的な学びにつながる活用について模索する。		
8月	夏季補習でのchromebookの活用について[教科会・学年会]	教科主任 学年主任 進路指導課	夏季補習
9月	chromebook活用における成果と課題の共有[教科会・学年会] 3年生の補習でのchromebookの活用について[教科会・学年会]	教科主任 学年主任 進路指導課	3年平日補習
10月	chromebookを活用した授業実践および実践の共有[授業見学]	教務課	校内授業公開
11月	chromebookを活用した授業実践および実践の共有[授業見学]	教務課	校内授業公開
12月			
中間 目標	chromebook活用した実践をGoogleクラスルームにアップロードし、情報共有する。主体的な学びにつながる新たな活用法に最低1回(1種類)は取り組む。		
1月	chromebook活用における各教科・学年における成果と課題の共有[教科会・学年会]	教科主任 学年主任	
2月			
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県) 立 (金沢北陵高等) 学校

GIGA校内研修推進リーダー (廻田卓哉、岩井良平)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・教員のChromebookを活用した授業イメージができるようになった。
- ・協働学習により、自分の考えを述べる→他者の考えを聞く→気づき→自分の考えの更新→他者の気づき→・・・といった生徒同士の活動の中で気づきの連鎖が生まれていき、理解の深化につながった。

課題

- ・Chromebook活用に対する不安感がまだ残っている教員も多い。(操作指導や実際の授業で上手く行えるかなど)
- ・教員や生徒も操作等にまだ慣れていない部分もあり、授業進度に遅れが生じることがあった。
- ・生徒パスワード変更設定やトラブル対応などができる教員に限られるため、一部の教員に負荷がかかった。
- ・新しく教材を準備したりなど授業準備に時間がかかる。

校内研修のアイデア

- ・推進リーダーが先行して授業実践をできる限り行い、それを多くの教員が参観できる機会を設ける。
 - 推進リーダーも含めて、先生方全員でアイデアの共有や活用の活性化を図る。
 - 若プロメンバーの先生方にも多く実践を行ってもらい、多くの先生に参観してもらう。
 - さらに教員全体の授業実践へと広げるため、教科会など通じて各教科ごとの特色を活かした活用方法を共有する。
- ⇒学校全体でアイデア共有・ファイル共有など協力し合いながら、教員・生徒のスキルアップを目指す。(校内のGoogleサイトも活用しながら、情報共有・ファイル共有をしやすくする取り組みを行う)
- ・全教員・全生徒にChromebookを取り入れた授業を行うことの有用性を感じてもらおう。(授業・生徒の取り組みが変化したり、学びが深化したと思えるようになる=有用性を感じて、活用促進につなげる)
- ・本格的な教員研修(1時間程度)ではなく、プチ研修として気軽に短時間で出来る内容の研修を行い、Chromebookに対する不安を解消する。
- ・今年度末に目指す目標が高く感じる教員には、自分ができそうなこと・やりやすいことから行っていくことを強調する。(スモールステップでの蓄積を目指す)
- ・若プロメンバーを中心に勉強会などを定期的に行い、実践・アイデア・気づいたことの情報共有や方向性を確認していく。(気軽に簡単な話し合い程度のもの、校内Googleサイトを活用したもの)
- ・授業実践を見ることができなかった教員への情報共有や成果と課題、今後の取り組みなどといった授業実践報告・振り返りを職員会議後の10分程度で行う。(6月、8月、10月、12月、3月)

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全生徒がスムーズにChromebookの操作(ロイロノート、Googleアプリなど)を行うことができるようになり、学校生活において勉強道具として活用することができる。
- ・全教員が今までの授業スタイルや経験知にプラスして、Chromebookを効果的に活用した授業展開ができるようになる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA年間研修計画について、管理職等との情報共有・方針合わせ[リーダー研修] ・ステージ1及び2の動画視聴による研修[個人研修] ・若プロコーディネーターとの事前研修[若プロ研修] ・ICT支援員との連携について[個人研修] 	推進リーダー 推進リーダー 推進リーダー 情報課	・4月26日(火)GIGA校内研修推進リーダー研修 第1日
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA年間研修計画について情報共有[全体研修] ・Chromebook活用研修(プチ研修:随時)[全体研修] ・「総合的な探究の時間(テーマ研究)」における、生徒へChromebookの使用・操作説明[3年生研修] 	推進リーダー 推進リーダー 推進リーダー	・5月17日(火)GIGA校内研修推進リーダー研修 第2日 ・教員向けICTアンケート調査① ・PT教員全体協議会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA推進リーダーによる公開授業[全体研修] ・Chromebookを用いた授業実践報告[全体研修] ・Chromebookの操作、活用相談会(随時)[個人研修] 	推進リーダー 推進リーダー 推進リーダー	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・Chromebookを用いた授業実践(随時)[若プロ研修] ・効果的なChromebookの活用、授業展開について情報共有[教科別研修] 	若プロメンバー 教科主任	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒がChromebookを毎時間授業へ持っていき、スムーズにログインや操作ができるようになる。 ・全教員がChromebookを用いた授業展開案を單元ごとに把握して、計画している。 		
8月	Chromebook活用振り返り、情報共有[全体研修]	推進リーダー	・教員向けICTアンケート調査②
9月	Chromebookを用いた授業実践(随時)[個人研修] 校内公開授業[全体研修]	各先生方 各先生方	・9月14日(水)GIGA校内研修推進リーダー研修 第3日
10月	推進リーダーによる活動振り返り、報告(中間報告、成果と課題)[全体研修] Chromebookを用いた授業の互見授業(随時)[個人研修] 北信越総合学科石川大会について(会場校)[全体研修]	推進リーダー 推進リーダー 総合推進課	
11月	Chromebookを用いた授業の勉強会[若プロ研修] Chromebookを用いた授業の振り返りと今後の活用について[教科別研修]	推進リーダー 教科主任	
12月	Chromebookを用いた授業や活用に関する情報共有[全体研修]	推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員がChromebookを活用した授業を毎週行うことができるようになる。 ・全教員がロイロノートやGoogleアプリなどの特性を理解して、場面により使い分けができるようになる。 		
1月	3年テーマ研究全体発表会におけるChromebookの活用について[全体研修] 石川県総合学科高校生徒成果発表会におけるChromebookの活用について[全体研修]	総合推進課 総合推進課	・3年テーマ研究全体発表会 ・石川県総合学科高校生徒成果発表会
2月	1年産業社会と人間でのライフプラン発表会におけるChromebookの活用について[全体研修] 今年度のChromebook活用について振り返り[個人研修]	総合推進課 推進リーダー	・1年ライフプラン発表会 ・教員向けICTアンケート調査③ ・2月24日(金)GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告 ・来年度に向けて申し送り事項の作成
3月	2年総合的な探究の時間におけるChromebookの活用について[全体研修] 今年度の実践報告(成果と課題)と来年度に向けての方策[教科別研修] 今年度の実践報告(成果と課題)と来年度に向けての方策まとめ[全体研修]	総合推進課 推進リーダー 推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(金沢向陽高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(中川 義之)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員を中心にクロームブックを授業で活用する動きが活発化している。 ・時限によっては取り合いになるほど積極的に活用する場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用のクロームブックが10台しかなく、全く足りていない。 ・校務が多忙で1人1台クロームブックを用いた授業の教材研究や準備に時間を割けない教員が多数存在する。 ・年齢に関係なくICT機器への苦手意識が強い教員は概して消極的な姿勢である。

校内研修のアイディア
<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA出前サポートの校内研修は当日一斉に全職員対象に行うだけでなく、①各教科 ②少人数のグループ ③マンツーマン(内容による) ④オンラインの対応も可能であることを校内に告知する。 ・目指す目標が高く感じる教員には自分ができそうなこと、やりやすいことから始めていくことを強調する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>全教員が1人1台端末の活用に対して抵抗感を持たなくなる。</p>

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月			4月26日(火)GIGA校内研修推進リーダー研修①
5月	端末操作個別相談会(随時)	推進リーダー	5月17日(火)GIGA校内研修推進リーダー研修②
6月	上記研修②の内容を全職員に伝える。		
7月	GIGA出前サポートによる校内研修①(全教員)	GIGA出前サポート	
中間目標	グーグルクラスルームの基本的操作を全教員が習得する。		
8月			
9月	端末操作個別相談会(随時)	推進リーダー	9月14日(水)GIGA校内研修推進リーダー研修③
10月	上記研修③の内容を全職員に伝える。	推進リーダー	
11月	端末操作個別相談会(随時)	推進リーダー	
12月	GIGA出前サポートによる校内研修②(全教員)	GIGA出前サポート	
中間目標	全教員がグーグルフォームを用いてアンケートまたは小テストが作成できるようになる。		
1月	端末操作個別相談会(随時)	推進リーダー	
2月	端末操作個別相談会(随時)	推進リーダー	
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(内灘高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(小林 晋)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・教員全員が実際に触れる機会を設け、6割以上の教員が実際に授業で使用するなど、さまざまなところでGIGA構想を推進する姿を見ることができた。
・端末を活用した授業に関する意見交換が、あらゆる場面で見かけられるようになり、教員同士のアイデアの共有の中で、教員の活用力が向上していった。

課題

・授業中の共有場面において、いたずらする姿が見られるなど、情報モラルの向上を図る必要がある。
・今年度は、とにかく活用することに主眼を置いていたが、次年度は、ねらいに応じて端末を活用するといった使用場面の精選が求められる。
・端末やアプリの活用を学校内だけでなく、家庭学習にもつなげ、学習時間の確保、学力向上を図りたい。

校内研修のアイディア

・Google Formsを使用してアンケートを常時開設し、授業実践例や効果、教員が求めるICTの有効的活用方法を全教員で共有する。
・本校のICT教育の状況を定期刊行物にして生徒・教員に配布し、生徒の反応や教員のICT教育の意図を明らかにする。
・職員会議後や考査期間に行うミニ研修会などでアプリケーションの活用方法を紹介する。
・小中学校授業参観で得た活用事例を共有する場や、本校生徒から教職員に対して端末活用例を発表する場面などを設ける。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

生徒:プレゼンテーションやデータ集計の場面において、複数で協力して、アプリケーションを活用し、より深い学びをする。

教師:授業において、1人1台端末を活用し、協働学習を行わせることで、より深い学びをさせる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGAスクール構想の概要を知る【オンライン講座】	GIGA担当	4/26(火)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	教員に1人1台端末(Chromebook)を渡して授業での使い方、プロジェクターなどへの投影の仕方などを学ぶ【職員研修】	研修リーダー	中間考査時
6月	児童生徒の情報モラル教育についての研修内容共有【職員研修】	研修リーダー	職員会議
7月	Google classroomを活用して、提出物の一斉回収や協働学習のやり方を学ぶ【職員研修】	GIGA担当	職員会議
中間目標	個々の教員が一度は授業でChromebookとアプリを用いて授業を実践する。		
8月	「1人1台端末」授業活用の取り組みについて協議する【GIGAリーダー協議】	研修リーダー	
9月	小中学校における「1人1台端末」授業活用の取り組みについて知る【校内研修】	授業参観者	地域交流における授業参観 校内研修
10月	各校の取り組み事例を元に、本校に合った授業形態について考える【校内研修】	研修リーダー	9/14(水)校内研修推進リーダー研修
11月	授業の一部における、アプリ活用事例を共有する【職員研修(互見授業)】	授業担当者	教育ウィーク
12月	Google スライド、Google サイトを活用し、発表場面に生かせるようにする【総探協議】	総探担当者	内高万博準備
中間目標	教員が実践してきたChromebookを使った授業で見つかった課題から、よりよい使い方を考察し、もう一度授業で実践する。		
1月	授業実践場面を共有し、今後に生かせるようにする【校内研修】	研修リーダー	
2月	次年度の効果的な活用に向けてふりかえり【校内アンケート】	研修リーダー	
3月	次年度のICT機器を用いた授業のありかたを検討し、次年度の準備【教職員協議】	GIGA担当	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・クロームブックを使った授業をした教員の人数は38人中31人となり、全体の82%となった。 ・生徒による授業評価において、「ICT機器を活用した結果、わかりやすく興味・関心を引き出す工夫が感じられた」と答えた生徒の割合が66%(7月調査)から74%(12月調査)に上昇した。したがって、3月時点では80%を超えていたと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科内での話し合いがあまりとれなかった。したがって、来年度は教科主任の主導で活用法について話し合うよう促していく。 ・来年度の研修会では基本編(苦手な教員向け)と活用編(応用スキルを学びたい教員向け)に分け、レベルに応じた研修を実施する。その際、活用スキルを持っている教員が講師として知識を共有する形式を取りたいと考えている。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修では、GIGAリーダー主導ではあるが、活用スキルをもった教員に講師を依頼し、全員が研修に参加している意識を持たせる。 ・校内若手研修会を利用して、スキルを共有する。 ・ホームページを通して、教職員だけでなく、地域への情報発信を積極的に行う。 ・互見授業週間に、ICT機器を活用した授業を積極的に行ってもらおう。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>[生徒]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台が実現したことにより、使用上のルールをしっかりと守って使用できる生徒になる。 ・わからないことをインターネットで調べられるようになる。 <p>[教員]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスルームやアプリの効果的な使い方を知り、授業やホームルームに積極的に取り入れていく。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[個人]クロームブックを配備する 使用上のルールを知る	推進リーダー	4月26日(火) 第1回GIGA推進リーダー研修
5月	[若手研修]情報交換をする	若プロリーダー 推進リーダー	5月17日(火) 第2回GIGA推進リーダー研修
6月	[3年生]修学旅行の調べ学習 [2年生]職場体験の調べ学習,まとめ学習 [全体]互見授業週間を利用して授業を見合う	担任 推進リーダー	互見授業週間
7月	[3年生]進路行事での利用	推進リーダー 進路指導課 担任	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クロームブックを普段から積極的に利用する教員の割合を50%以上にする。 ・クロームブックを活用した授業を行ったことがある教員の割合を70%以上にする。 ・7月実施の授業アンケートにおいて、ICT機器を活用した授業で興味・関心をもった生徒の割合を70%以上にする。 		
8月	[全体]第1回校内研修会 [3年生]履歴書作成	推進リーダー 進路指導課	
9月	[3年生]オンラインでの就職面接 [2年生]修学旅行の調べ学習,まとめ学習	推進リーダー 進路指導課	9月14日(水) 第3回GIGA推進リーダー研修
10月	[全体]文化祭での利用(タイピングの速さを競うなど)	推進リーダー 生徒会	文化祭
11月	[3年生]課題研究(ドキュメント,スライド) [全体]互見授業週間を利用して授業を見合う	推進リーダー 担任	互見授業週間
12月	[全体]第2回校内研修会 [3年生]課題研究(ドキュメント,スライド) [1年生]ライフプラン作成	推進リーダー 担任	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クロームブックを普段から積極的に利用する教員の割合を70%以上にする。 ・クロームブックを活用した授業を行ったことがある教員の割合を90%以上にする。 ・12月実施の授業アンケートにおいて、ICT機器を活用した授業で興味・関心をもった生徒の割合を80%以上にする。 		
1月	[総合学科1,2,3年生]総合学科研究発表会 [3年生]課題研究発表会 [1年生]ライフプラン作成	推進リーダー 担任	
2月	[1年生]ライフプラン発表会 [2年生]上級学校,企業調べ	推進リーダー 担任	
3月	[全体]アンケートの実施 各教科において成果と課題を出す	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(羽咋高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(前田耕志)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを活用した授業づくり ・ロイロノートを職員会議で用いることによる会議資料のペーパーレス化 ・Google Classroomを用いての質問対応 ・月1回の情報交換会による職員の利用技術の向上 ・オンラインでの3校合同探究活動発表会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備に時間がかかった ・生徒が一人一台端末でなかったため、Chromebookの予約調整が大変だった ・すべての教員が授業で使用できるようになったわけではなかった ・教員分のChromebookの台数が揃っていないので、教員がその使用に慣れることは難しかった ・クロームキャストの台数が足りず、プロジェクターとの接続ができなかった

校内研修のアイデア

- ・昨年度よりGoogle ClassroomをはじめとするG Suite for Educationの活用と同時にロイロノートを授業等で使用してきたが、来年度より有料となるため、より効果的な活用方法を学び、次年度以降使用するかどうかの判断をおこなう。そのために、定期的な情報交換を行い、効果的な利用法を模索する
- ・生徒のChromebook使用に関するアンケートをもとに生徒のニーズを考える。
- ・生徒の家庭への持ち帰りに関する注意事項の確認や百問繚乱などの使用方法の共通理解などをはかる

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・効果的なChromebookの使用方法を確立する
- ・ロイロノートについて、本校での活用事例をまとめる
- ・授業やそれ以外の場面でも生徒が自主的にChromebookを使用できるようになる

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	Chromebook操作確認【個人】	GIGA校内研修推進リーダー	
5月	生徒のアンケート結果の情報交換【全体】 実践授業の情報交換【各教科会】	GIGA校内研修推進リーダー	
6月	実践授業の情報交換【各教科会】 相互の実践授業見学【全体】 Chromebook操作確認【個人】	GIGA校内研修推進リーダー	相互授業参観
7月	実践授業の情報交換【各教科会】 ロイロノートの使用方法の講習会【全体】	GIGA校内研修推進リーダー 外部講師	
中間目標	毎日の授業での生徒のChromebook使用率を平均値2回以上にする		
8月	生徒のアンケート結果の情報交換【職員会議】 教科をこえての実践授業の情報交換【職員会議】 Chromebook操作確認【個人】	GIGA校内研修推進リーダー	
9月	実践授業の情報交換【各教科会】 Chromebook操作確認【個人】	GIGA校内研修推進リーダー	
10月	各研究部会の情報交換【全体】 Chromebook操作確認【個人】	GIGA校内研修推進リーダー	各研究部会
11月	実践授業の情報交換【各教科会】 相互の実践授業見学【全体】 Chromebook操作確認【個人】	GIGA校内研修推進リーダー	相互授業参観
12月	実践授業の情報交換【各教科会】 Chromebook操作確認【個人】	GIGA校内研修推進リーダー	
中間目標	Chromebookの使用を効果的と感じる生徒の割合を5%以上上昇させる		
1月	生徒のアンケート結果の情報交換【全体】 実践授業の情報交換【各教科会】 Chromebook操作確認【個人】	GIGA校内研修推進リーダー	
2月	実践授業の情報交換【各教科会】 「端末操作」個別相談会【個人】 Chromebook操作確認【個人】	GIGA校内研修推進リーダー	
3月	生徒のアンケート結果の情報交換【全体】 教科をこえての実践授業の情報交換【職員会議】 Chromebook操作確認【個人】	GIGA校内研修推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立羽咋工業高等学校

GIGA校内研修推進リーダー 関屋 聡一

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・若手の先生が積極的にICTを利用した。
- ・モデル校(羽咋中、鹿西高など)の公開授業参観を積極的に促し、多くの教員が参観して自分の教科での活用法について実際に見て学んでいた。

課題

- ・Chromebookに抵抗のある先生に対しての働きかけが弱く、使ってもらいきっかけを作ることができなかった。
- ・共通教科の人数が少なく、実践例が積みあがらない。

校内研修のアイデア

- ・GIGA校内研修推進チーム、PT教員が率先して、1人1台端末を活用した授業を実践する。
- ・全教員Chromebookを活用した授業を各学期1回取り組む。
- ・Chromebookを活用した授業に取り組み、良かった点、悪かった点を共有する機会を設け、お互いに参考にする。
- ・各教科主任がGIGAに関する希望研修を受講し、内容を校内の教科内の先生に共有する。
- ・Chromebookの操作方法や1人1台端末の活用方法等の質問を推進チーム、ICT支援員が随時受け付け、校内の先生方をサポートする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全教員が1人1台端末を活用した授業を行うことができる。
- ・各教科で1人1台端末を活用した、学びを深める授業を実践する。

月	研修テーマ[研修形態]	関連する行事等
4月	GIGAスクール推進ビジョンの説明[全体] ※学校長	4/26(火) GIGA校内研修推進リーダー研修① 第1日 ※年間計画準備
5月	動画視聴による研修(ステージ1・2・3)[新任] 情報モラル研修[全体] ※推進リーダー	↑ 教科ごとの授業実践 ↓
6月	PT教員による授業公開[個人] 端末を用いた校内研修[全体]	
7月	推進チームによる授業公開[個人] 授業実践の共有会[グループ]	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が1人1台端末を活用した公開授業を1回以上行う。 ・校内の公開授業を参観する。 	
8月	GIGA出前サポート[全体] 各教科による授業実践の研究	
9月	PT教員による授業公開[個人] 端末を用いた校内研修[全体]	↑ 教科ごとの授業実践 ↓
10月	推進チームによる授業公開[個人] モデル校(鹿西高校)視察	
11月	PT教員による授業公開[個人] モデル校視察の共有会[全体] ※推進リーダー 端末を用いた校内研修[全体]	
12月	授業実践の共有会[グループ]	モデル校視察(全体)
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が1人1台端末を活用した公開授業を2回以上行う。 ・2回目の公開授業は1回目よりも「深まり」のあるものにする。 	
1月	推進チームによる授業公開[個人]	
2月	教科による1年間の取組の振り返り[全体]	
3月	実践のまとめ[全体] ※推進チーム 次年度に向けて[全体] ※推進チーム	3/4(金) GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告書 締切 3/4(金) 新たな授業づくり研修受講状況報告 最終締切

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(宝達高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(商業科 石田 雅典)

0

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> Googleformsを利用した授業の学びなおしや、Jamboardを活用したグループ学習、資料を生徒同士で共有して作成。 校内探究学習発表会、複数教室をGoogleMeetで接続させ、オンライン発表会を実施することができた。 生徒や保護者向けアンケートなど各種調査を、GoogleFormsを利用してペーパーレス化と業務の効率化ができた。 	<p>今後、利用頻度が増えていくことで、作成されたファイルやフォルダなどのデータについて、組織として管理方法やルールを決めなければならない。</p> <p>また、学習活動の利用において、GoogleChromeBookの生徒一人一台に向けて、自宅学習での活用方法や、授業での新しい活用方法の創造など、学校の特色に合わせ、各教科、先生方の意見や生徒たちの反応を集約しながら、組織全体で統一感のある活用方法を考えていかなければならない。</p>

校内研修のアイデア

- ・昨年度の本校や他校の取り組み、活用方法について紹介する。
- ・GooglechromeBookで利用できるサービスについて説明する。
授業での活用例や、業務改善に利用できる提案などを紹介して、便利であることをアピールしていく。
- ・生徒や教職員間へのアンケートなど、定型的な業務をGoogleChromeBookを活用。
- ・ロイロノートの活用方法について校内研修する。
- ・若プロメンバーがICT活用について研究・実践、校内研修等により活用事例を紹介。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・生徒全員参加型の授業を実施。
プレゼンテーション力、情報収集力、情報整理力、問題解決力をつけさせる。
- ・生徒が学びたいときに学べる環境。
Googleclassroom等を活用した課題や問題の提供。
自宅学習でも課題の提出や資料の閲覧。
- ・教職員の業務改善に向けた取り組み。
ICT化できることについて積極的に挑戦する。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGAスクールライブラリを参考に活用方法を学ぶ(研修)	推進チーム	
5月	GIGAスクールライブラリを参考に活用方法を学ぶ(研修)	推進チーム	
6月	GIGAスクールライブラリを参考に活用方法を学ぶ(研修) ロイロノートの活用方法について校内研修(研修)	推進チーム 若プロ	校内研修 若プロ
7月	GIGAスクールライブラリを参考に活用方法を学ぶ(研修)	推進チーム	
中間 目標	GooglechromeBook利用できるサービスや機能について確認する ロイロノートを活用した授業づくりについて検討する		
8月	GooglechromeBook「Jamboard・Forms」等 授業活用研 修(研修)	推進チーム	校内研修
9月	授業課題の提出方法をClassroomにしていく(事例報告)	授業担当者	
10月	授業課題の提出方法をClassroomにしていく(事例報告)	授業担当者	研究授業
11月	授業課題の提出方法をClassroomを取り入れていく(実践) 若プロによるICT活用事例紹介(事例報告)	推進チーム 若プロ	研究授業 校内研修
12月	授業や冬期休暇中の課題の提出方法をClassroomを取り入れて いく(実践)	授業担当者	
中間 目標	授業において効果的な場面でICT活用が活用できる 生徒の理解を深めるICTの活用について検討する		
1月	授業の質問や感想、確認テスト等をClassroomを活用して実施 (実践)	授業担当者	
2月	ICTを活用した学習課題の解決(振り返り)	授業担当者	
3月	ICT利用における課題について調査し検討する(まとめ)	推進リーダー	校内アンケート等

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立志賀高等学校

GIGA校内研修推進リーダー 春成寿子・大畠成裕

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 全体研修会を重ねるごとに研修を授業に役立てられると考える教員が増加した。 ChromeBookの稼働台数、使用時間、使用教員数とも上昇傾向が見られた。 学校評価のICTを使った授業に関する値が生徒・教員とも上昇した。 学校評価、授業評価、欠席連絡、職員会議資料などでペーパーレス化・省力化が進んだ。 生徒の活用能力は確実に上昇し、自分の意見を発表できない生徒もChromeBookを使えば意見を入力することができるケースが見られた。 総合的な探究の時間のスライドづくりなど、協働的な学習が効率的に行えるようになった。 オンラインでの講演が実施できるようになり、遠方の方に講師をお願いしやすくなった。 推進校の研究授業参観に複数名が参加し、自ら学びを深めようとする姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 端末を使わない教員の固定化。使わない理由はそれぞれだが苦手意識が強い教員に使ってもらうのは難しい。 研修でできたと感じても実践につながらない、覚えられない教員がいる。やらされている意識が強い。どう活用していいかわからない。 利用状況の把握が難しいため、授業の目的とは違った利用をする生徒がいる オンライン会議が増加したが、トラブルが多発し推進リーダーの負担増 保護者対象の学校評価等は紙媒体で行っていたときより回答率が低下 生徒のスマホ機種変更時のトラブルや、アドレス・パスワード忘れの対応など推進リーダーの負担増

校内研修のアイデア

- ・新学習指導要領に対応した評価をするための授業づくりを視野に入れた研修
- ・研修で学んだことがなかなか定着にくいいため、前半は復習を取り入れる
- ・オンライン会議・研修に対応できる研修の実施 (Zoom・Meet等の使用法)
- ・日常的に一人一台端末を活用している先生方の実践紹介のあとに教材研究の時間を設け、後日授業で実践してもらいその成果を全員が紹介する機会を持つ
- ・年度更新作業 (Classroomの管理) のための研修
- ・ICT支援員による日常的な授業支援と端末操作支援
- ・プロジェクトチーム教員に選出された2名の授業を参観する機会を持つ
- ・指定研修で一人一台端末を使用した授業を行い、参観する機会を持つ
- ・情報モラルについて年に1回は確認の機会を持つ
- ・より授業に取り入れやすくなるために、シンキングツールの種類と使い方を学ぶ研修を取り入れる。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・すべての教員が日常的に一人一台端末を使った授業を実践できるようになる。
- ・すべての教員がICT支援員に日常的に質問をしたり、授業での支援を求めることができるようになる。
- ・すべての生徒が日常的に一人一台端末を活用して自分の意見を示すだけでなく、協働的な学習にも活用できるようになる。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	Classroomの年度更新作業 (アーカイブと新規作成) [全体] 情報セキュリティ研修 [全体] 端末操作等個別支援 (随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員	新入生向け説明会 GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	情報モラル・Zoom等の使用・ロイロノートを使った授業 [全体] 端末操作等個別支援 (随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員	PT教員全体協議会
6月	Classroom・Jamboard・Form等操作 (復習)・シンキングツールを効果的に使おう [全体] 端末操作等個別支援 (随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員	
7月	端末操作等個別支援 (随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員	
中間目標	すべての教員が授業で活用するためのClassroomまたはロイロノートの授業を作製している 夏季休業中の課題に一人一台端末を活用するものが生徒1人あたり2点以上出されている すべての生徒が校内使用のルールを遵守して一人一台端末を活用できている		
8月	授業実践交流会 [グループ] 授業の構想づくり [個人] 端末操作等個別支援 (随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員 実践教員	
9月	端末操作等個別支援 (随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員	GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	授業実践週間 [個人] 端末操作等個別支援 (随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員	
11月	端末操作等個別支援 (随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員	
12月	端末操作等個別支援 (随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員	
中間目標	半数以上の教員が一人一台端末を活用して得られた成果物を活用して評価をしている すべての教員が5回以上授業で一人一台端末を活用している すべての生徒が授業での一人一台端末使用に不安なく対応できている		
1月	端末操作等個別支援 (随時) [個人]	推進リーダー ICT支援員	実践状況アンケート [個人]
2月	端末操作等個別支援 (随時) [個人] 実践のまとめ [全体]	推進リーダー ICT支援員	報告書締切
3月	端末操作等個別支援 (随時) [個人] 次年度に向けた作業 [全体]	推進リーダー ICT支援員	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立七尾東雲高等学校

GIGA校内研修推進リーダー（木森建一・関屋正太）

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・若手研メンバーを中心に、端末の利用が徐々に増加し年度末にはほぼ毎時間利用する状況となった。 ・操作に慣れてきた教員が増え、操作方法を質問しやすい環境になってきた。 ・工夫したことを教員同士で共有する機会が増えた。 ・授業だけでなく学校評価アンケートなどの校務分掌にも利用するようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台の状態での端末利用ルールが明確ではない。 ・Chromebookで、できることが精査できていない。（利用するアプリを選択することに苦勞している。） ・端末の操作に躓く生徒がいると、授業が進まなくなる。 ・作成した教材や授業の様子などを撮影した写真・動画を個人領域に保存し、共有することができる教員は少ない。

校内研修のアイデア

- ・GoogleClassroom基本講座を開催する。同じ内容の講座を複数回実施し、参加できる回を各自で選択できるようにし受講しやすい環境を作る。また複数回受講可能として技能の定着を図る。
- ・講座内容は、課題の作成、提示、回収ができるようにする。また、Meetを使ってオンライン授業の実施方法を確認する。
- ・GIGA推進委員を工業科、農業科、商業科から選出し、教科内研修が実施しやすい環境を作る。
- ・若手研修会に属するメンバーがほぼ教科を網羅しているので、相互授業参観を通して、端末操作に関する技術を教科内の教員に拡大する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・Google classroomを介して、課題に取り組み提出することができる。
- ・マナーを守って端末を利用できる。
- ・データを活用するために利用するアプリを選択できる。
- ・授業で作成した物を個人領域に保存し、あらゆる端末から参照し、活用及び共有ができる。
- ・GoogleMeetを利用したオンライン会議に参加できる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間計画についての説明会[推進委員] 動画視聴による研修[個人]	校長 教頭	職員会議
5月	GoogleClassroom(クラスのアーカイブと作成)[全体] 動画視聴による研修[個人]	推進リー ダー ICT支援員	中間テスト
6月	GoogleMeetの基本[全体]	推進リー ダー ICT支援員	
7月	GoogleClassroomの活用①[相互授業参観]	推進委員	相互授業参観週間 期末テスト
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員はGoogleClassroomで課題の作成・提示・回収ができる。 ・推進委員はGoogleMeetでオンライン授業を実施できる。 		
8月			
9月	GoogleClassroom操作（アプリ利用）[全体]	推進リー ダー ICT支援員	
10月	GoogleMeetの活用②[全体][教科内研修]	推進委員 ICT支援員	中間テスト
11月	GoogleClassroomの活用②[相互授業参観]	若手研メン バー	相互授業参観
12月	GoogleClassroomの活用②[相互授業参観]	教員相互	相互授業参観
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員がGoogleClassroomで課題の作成・提示・回収ができる。 ・全教員がGoogleMeetでオンライン授業を実施できる。 		
1月	学習成果発表会での活用 [農業科・工業科・商業科・演劇科]		学習成果発表会 (3年)
2月	実践のまとめ[推進委員]	推進委員	
3月	次年度に向けて[推進委員] GoogleClassroom(クラスのアーカイブ)[全体]	推進委員	

目標の達成に影響を与える現状

＋（強み）

- ・学校設定教科「探究」について、全職員で指導する体制が出来上がっている。
- ・理数科の探究活動がある。
- ・パワーポイントを活用した授業実践が多くの教員によって行われている。
- ・GoogleClassroomでのやり取りが徐々に増加している。

－（弱み）

- ・WindowsPC、iPad、ChromeBookなど、複数種の機器の扱いに困難を感じる教員が多い。
- ・クラウドを利用した学習形態に不慣れな教員・生徒が多い。
- ・Chromebookを活用した授業の実践例が十分でない。

校内研修のアイデア

- ・職員会議で、短いICT活用研修を実施する。
- ・ICTを活用した授業スキルを身に付ける研修を若プロで行う。
- ・各教科で、ICT推進担当を決め、授業実践を行うとともに、教科会で情報共有をする。また、教科の特色を利用した効果的なICT機器活用法をまとめる。
- ・教科「探究」（学年）や理数科の自然科学研究（理科、数学教員）でのICT機器活用を通して、総合的なICT活用能力を育成する。
- ・教務課での互見授業と連携して、ICT機器使用推進期間を設け、teamsで周知することで、互いに学びやすい雰囲気作りを行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・生徒が学習場面（家庭、授業、放課後など）に応じた、効率的なICT活用の方法を身に付ける。
- ・すべての教員がICT使用を積極的に行い、適切な場面で活用できるようになる。
- ・教員は多様な生徒（理解度の異なる生徒）に対応し、個別最適化（家庭学習を含む）ができるようになる。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[個人研修] (主に新採)GIGAスクールライブラリステージ1の必須動画視聴 [全体研修 (職員会議で毎月)] 職員会議での短い研修 [2年理数科] 「自然科学研究」開始	教頭 推進リーダー 探究課室長	4/26(火)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	[全体研修1] 年間計画提示、(考査初日)Chromebook操作研修会 [教科会別研修1] 今年度の目標設定 [個人研修] (主に新採)GIGAスクールライブラリステージ2, 3の必須動画視聴	推進リーダー 教科主任 教頭	5/17(火)第2回GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	[1学年] 「探究」ポスター発表 [3学年] 「探究」融合プロジェクト発表 [若プロ1] ICTスキル研修1	学年主任 探究課室長 若手PT	
7月	[全体研修2] 情報モラル・デジタルシチズンシップ [2学年] 「探究」能登現状調べ学習 [若プロ2] ICTスキル研修2	推進リーダー 学年主任 若手PT	第1回学校評価アンケート
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員がICT機器の使用を積極的に行えるように、抵抗感を減らし、まずは使ってもらおう。 ・若手教員の研修体制を確立する。 ・教科でICT機器活用を推進し、教科会で議論が行われ、PDCAサイクルを回すことができる。 ・全教員がOnlineで授業を配信し、生徒はそれを用いて家庭学習できる。 		
8月	[教科会別研修2] 1学期の課題と対策 [全体研修3] ICT機器操作研修会2 [2年理数科] NUSハイスクールとのオンライン発表	教科主任 推進リーダー 探究課推進室	シンガポール海外研修
9月	[若プロ3] 授業実践中間報告 [ベテラン教員] ICT機器活用授業報告	若手PT 推進リーダー	9/14(水)第3回GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	[教科会別研修3] 2学期の課題と対策	教科主任	
11月	[2年理数科] 「自然科学研究」口頭発表 [2学年] 「探究」能登の現状ポスター発表	探究課室長	いしかわ教育ウィーク
12月	[2年理数科] 合同発表会 [1学年] 「探究」能登人口の推定調べ学習	探究課室長 学年主任	第2回学校評価アンケート
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が教科「探究」で、ICT機器を活用して指導できる。 ・若手教員が研修成果を授業実践し、ベテランへと波及させる。 ・教科間でICT機器活用方法を共有する。 		
1月	[教科会別研修4] 次年度に向けて成果と課題の共有 [1学年] 「探究」能登の人口の推定口頭発表 [2学年] 「探究」融合プロジェクト	教科主任 学年主任 学年主任	
2月	[若プロ4] 次年度に向けて成果と課題の共有	若手PT	英語発表
3月	[全体研修4] 今年度の成果と課題 [全体研修5] 次年度の取り組みについて	研修リーダー 研修リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(田鶴浜高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(折坂 和希)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<p>・多くの教員がGoogle for Educationの機能を校務や学習支援等で活用したり、ICT機器を授業や学習支援等で活用する機会を取り入れたりとすることができた。</p> <p>・校内研修を重ねるにつれて、ICT活用に関する相談が増加し、ICT活用を授業だけではなく、校務などでも取り入れる教員が増えた。</p>	<p>①生徒の「確かな学力」の定着を目指した1人1台端末活用。</p> <p>②教員のICT活用能力向上。</p>

校内研修のアイデア
<p>課題①に対して</p> <p>(1)教科横断的に授業実践例を共有する機会を設ける。 →●授業実践(随時)【全体】</p> <p>(2)個別相談を通して、1人1台端末を使った授業展開のイメージをつかむ。 →★個別相談会(随時)【個人】</p> <p>課題②に対して</p> <p>(1)日々の業務や校務などでも活用する仕組みをつくる。 →朝礼伝達表やクラスルーム等を活用して情報共有を行う。</p> <p>(2)実際に活用することで有用性を感じてもらう。 →クラスルームや研修等を通じて、活用アイデアを共有する場を設け、意見交流を行う。</p>

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>①生徒の「確かな学力」の定着を目指した1人1台端末活用ができている。</p> <p>(1)教員が「確かな学力」の定着を目的とした1人1台端末活用授業をイメージすることができ、実践している。</p> <p>(2)(1)によって、生徒が「確かな学力」の定着を実感している。</p> <p>②日常的にICT活用を行っていくことで、教員のICT活用能力が向上している。</p>

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明【全体】	GIGA推進	・生徒会役員選挙(生徒会)
5月	★個別相談会(随時)【個人】 ●授業実践(随時)【全体】	GIGA推進	
6月	★個別相談会(随時)【個人】 ●授業実践(随時)【全体】	GIGA推進	
7月	★個別相談会(随時)【個人】 ●授業実践(随時)【全体】	GIGA推進	・実習発表会
中間 目標	目標①(1)を達成できている教員が60%以上である。 目標②を達成できている教員が60%以上である。		
8月	★個別相談会(随時)【個人】	GIGA推進	
9月	★個別相談会(随時)【個人】 ●授業実践(随時)【全体】	GIGA推進	・文化祭・体育祭(生徒会)
10月	★個別相談会(随時)【個人】 ●授業実践(随時)【全体】	GIGA推進	
11月	★個別相談会(随時)【個人】 ●授業実践(随時)【全体】	GIGA推進	・実習発表会
12月	★個別相談会(随時)【個人】 ●授業実践(随時)【全体】	GIGA推進	・保護者アンケート(総務)
中間 目標	目標①(1)を達成できている教員が80%以上である。 目標①(2)を達成できている生徒が80%以上である。 目標②を達成できている教員が80%以上である。		
1月	★個別相談会(随時)【個人】 ●授業実践(随時)【全体】	GIGA推進	・休み明けアンケート(生徒指導)
2月	★個別相談会(随時)【個人】 ●授業実践(随時)【全体】	GIGA推進	・実習発表会
3月	実践のまとめ【全体】 次年度に向けて【全体】	GIGA推進	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・本校では1年生全員にChromebookが与えられたこともあり、1年生を担当している先生方を中心に積極的な活用が行われ、アプリの使用や協働編集機能の活用が十分進んだ。
 ・相互授業参観期間に限らず、教員間で授業を参観し合い、積極的に意見交流する先生方が増えた。
 ・協働編集機能や共有機能を活用することでこれまで発言を積極的にしなかつた生徒の意見も拾いやすくなり、より気づきを与える授業に向けて前進した。

課題

・探究サイクルを意識できるような問いの設定
 ・授業内活用を中心に取組んで来たため、個別最適な学習の工夫について研究が不足している。
 ・1年生のみ全員に端末配付がされたため、授業担当者によって授業への活用レベルに大きな差が出ている。

校内研修のアイデア

☆端末・アプリの基本的活用☆

・転任者や不慣れな先生に一通り研修を行い、その後は日常的にOJTで補う

☆授業改善☆

・「主体的で深い学びを生み出すための授業とは」どのような授業かを考えるところから
 ・まずは教科で考えて実践してみる
 → 実践して上手いこと、思うようにならなかったことを整理し、全体で共有
 ・他教科の考え方や知恵も参考に、各自で授業設計、実践。

☆気づきをもたらす仕掛け☆

・上記授業改善の一部だが、振り返りをどのように行うか(振り返りのための問いかけなど)の検証

☆家庭学習等での活用☆

・Wifi環境がない家庭もあるため、オフラインでもできることを教員・生徒ともに把握する
 ・何をどうやって家庭(授業外)で取り組ませると効果的なのかを実践例とともに共有する

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

(昨年度からの継続)

探究的サイクルを意識した授業設計 (調べる→まとめる→伝える→新たな気づき・課題発見→…)

★学びをもたらす授業の形★

◎教員は生徒が探究サイクルを意識できるような問いの設定をする。
 ◎生徒は問い(学習テーマ)に関連することを調査し発表する過程で、新たな気づきや課題を発見し、さらに学びを深める。
 ★1つ1つの過程を充実させるためのICT活用★
 ○資料(史料)について、生徒自身が拡大表示し特徴を細部まで確認したり、資料(史料)に書き込みをしたりすることで学びにつなげる。また、観察・実験をカメラ機能で記録しておき、考察する際に、再度その情報に立ち返りながら、事実を確認したり、問題解決の糸口を探ったりする。
 ○生徒同士がChromebook上で意見や考えを目に見える形で共有し、グルーピングなどを通して思考を深めたり、問題解決に活かしたりする。

月	研修テーマ[研修形態]	関連する行事等
4月	転入者向け導入研修[転入者および希望者へ講義・実習] Classroom・Jamboard・スプレッドシート・Form・ロイロノート	GIGA校内研修推進リーダー研修第1日
5月	オフラインでの活用について[全体] ※授業外での使用実践事例を、シートで共有する(随時)	GIGA校内研修推進リーダー研修第2日
6月	情報モラルの育成について[全体](リーダー研修第2日の還元) GIGAを意識した授業改善について[若プロにて情報交流]	(教科会等における授業の在り方検討・実践)
7月	教科における実践事例の発表①[全体] 総合的な探究学習における端末の活用[第1学年・第2学年会議]	
8月	教科における実践事例の発表②[全体]	センター希望研修(GIGA)外国語
中間目標	・各教員が生徒自身が主体的で深い学びを生み出すための授業についての考えを持つ。 ・生徒、教員ともに、オフラインモードについて知り、Wifi環境がない中でも取り組めることについて理解をする。	
9月	校内相互授業参観期間(一部GIGA出前サポートを兼ねる)	GIGA校内研修推進リーダー研修第3日 センター希望研修(GIGA)国語
10月	校内相互授業参観期間(一部GIGA出前サポートを兼ねる) 他校実践例の紹介[全体](リーダー研修第3日の還元) 相互授業参観期間における実践の振り返り[各教科および全体]	(教科会等で希望研修についての共有) センター希望研修(GIGA)地歴公民・数学
11月	校外向け公開授業	センター希望研修(GIGA)理科・保健体育
12月	校外向け公開授業	
中間目標	・各教員が「生徒自身が主体的で深い学びを生み出すための授業」を設計してみることができる。また、各教員の実践を参観し、よりよい授業を作るにはどうしたらよいかという視点で、主体的に意見を交わし、授業に対する理解を深める。	
1月	教科における、研究・実践の振り返り[各教科および全体]	
2月	教科における、研究・実践の振り返り[全体]	
3月	GIGAの取り組みの振り返りと今後に向けて[全体]	

目標の達成に影響を与える現状

＋（強み）

- ・ ICTに長けた人材が、若手を中心に一定数いる。
- ・ 1人1台端末を活用した授業を、日常的に行っている教員がいる。
- ・ 「総合的な探究の時間」については、全職員で指導する体制ができあがっている。
- ・ ICT支援員の活用を模索する議論を行っている。

－（弱み）

- ・ ベテラン層の一部にICTに対する苦手意識が強い教員がいる。
- ・ ICTを活用した授業を研究、実践しようとするところまでいかない教員がいる。

校内研修のアイデア

- ・ GIGAスクール構想推進プロジェクトチーム（PT）教員がまず実践を蓄積する（年間を通して随時）。
- ・ Googleポータルサイトにて、実践例を共有する。
- ・ GIGAスクール構想推進PTの実践を校内全体に広げる機会をもつ。
 - ①定期的に校内の情報交換の場を設定する（7月、12月）。
 - ②1人1台端末を活用した授業を撮影し、校内研修で取り組みの仕方や工夫を共有する。
- ・ 「総合的な探究の時間」を基軸として、共通実践を図り、各教科に広げる。
- ・ ICTが苦手な教員に対しては、個別に端末の操作方法を教える機会をもつ（年間を通して随時）。
- ・ 若手研修の中にICT活用についての内容を盛り込み、授業におけるアイデアを協議する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・ 全生徒が、「総合的な探究の時間」の成果を動画やパワーポイントなどのデジタルベースにまとめ発表できる。
- ・ 全教員が、担当する教科で「生徒が1人1台端末を活用して学ぶ授業」を行うことができる。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明会 [全体] ※推進リーダー 動画視聴による研修（ステージ1・2） [個人]	道下 東喜央 北川 晃義	第1回GIGA校内研修推進リーダー研修 ※年間計画持参
5月	動画視聴による研修（ステージ3） [個人] 若手PT勉強会・実践（随時） [グループ・個人]	校内PT教員	第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 ※発表資料持参
6月	「端末操作」個別相談会（随時） [個人] ※推進チーム 若手PT勉強会・実践（随時） [グループ・個人] 「情報モラル」校内研修 [全体]	校内PT教員	
7月	「端末操作」個別相談会（随時） [個人] ※推進チーム 若手PT勉強会・実践（随時） [グループ・個人] ※第1回 発表会に向けて 若手PT実践発表会（第1回） [全体]	校内PT教員	「総合的な探究の時間」成果発表（3年）
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若手PTによる実践例が共有できるレベルに達する。 ・ 全教員が端末の基本的操作を習得する。 		
8月	「総合的な探究の時間」でのICT活用について [全体] 「端末操作」個別相談会（随時） [個人] ※推進チーム 「1人1台端末を活用した授業づくり」 [教科]GIGAサポート	校内PT教員	
9月	「総合的な探究の時間」でのICT活用について [学年会] 「端末操作」個別相談会（随時） [個人] ※推進チーム	校内PT教員	第3回GIGA校内研修推進リーダー研修 ※発表資料持参
10月	若手PT勉強会・実践（随時） [グループ・個人]	校内PT教員	
11月	効果的なICT活用について [各教科会] 若手PT勉強会・実践（随時） [グループ・個人]	校内PT教員	
12月	若手PT勉強会・実践（随時） [グループ・個人] ※第2回 発表会に向けて 若手PT実践発表会（第2回） [全体]	校内PT教員	教員対象ICT活用アンケート（推進チーム）
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全教員が「総合的な探究の時間」で、ICT活用について指導できる。 ・ 全教員が、教科の授業で最低1回は1人1台端末を活用している。 		
1月	「総合的な探究の時間」成果発表会に向けて [1・2学年]	校内PT教員	「総合的な探究の時間」成果発表（1・2年）
2月	外部講師による校内研修 [全体] ※推進チーム 実践のまとめ [全体] ※推進チーム	校内PT教員	GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告書締切
3月	次年度に向けて [全体] ※推進チーム	校内PT教員	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(能登高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(三矢 陽平)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
すべての教員がChromebookを利用した授業をすることができた。 校内研修サポートを入れることによって、教科ごとの活用方法について検討を行うことができた。	全員が一度は利用することができたが、継続して活用している教員は少ない。 一人一台のChromebookが配備されたため、授業以外での活用方法を検討していく必要がある。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・学年団を各担任をリーダーとした小人数グループに分け、授業での活用のほかに、ホームルーム活動などの授業外での活用も検討する。 ・簡単な内容でも使用した事例についてのレポートをつくり、良かった点・悪かった点を考える。 ・集められた事例集を誰でも見れるようにしておき、ICTの利用が苦手な教員でも、これならできると思うことから利用していく。 ・教科ごとに校内研修サポートを活用するなどして、授業での効果的な活用方法を学び、実践を通して、より良い学習活動になるようブラッシュアップしていく。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>すべての教員が生徒の能力・実態に応じた効果的なICT機器の活用法を研究し、授業に限らず適切な場面でICTを活用できるように努めている。</p> <p>生徒はChromebookを文房具の一つとして活用し、自らの「確かな学力」の育成を行っている。</p>

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月			GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	今年度の研修計画について[全体・職員会議] 事例集づくり[ネットワーク上で共有]	三矢	GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	グループごとに活用方法の検討 事例集づくり[ネットワーク上で共有] よかったものを全体に紹介[全体]	グループリーダー	
7月	グループごとに活用方法の検討 事例集づくり[ネットワーク上で共有] よかったものを全体に紹介[全体]	グループリーダー	
中間目標	全教員がChromebookを利用し、より良い活用方法について検討している。		
8月	教科ごとに校内研修サポートを入れて授業での活用法を学ぶ	教科主任	
9月	教科ごとに校内研修サポートを入れて授業での活用法を学ぶ 事例集づくり[ネットワーク上で共有]	教科主任	GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	グループ・教科で効果的な活用法について検討 事例集づくり[ネットワーク上で共有]	教科主任 グループリーダー	
11月	グループ・教科で効果的な活用法について検討 事例集づくり[ネットワーク上で共有]	教科主任 グループリーダー	
12月	グループ・教科で効果的な活用法について検討 事例集づくり[ネットワーク上で共有]	教科主任 グループリーダー	
中間目標	全教員が、より良い授業のためのChromebookの活用について検討している。		
1月	グループ・教科で効果的な活用法について検討 事例集づくり[ネットワーク上で共有]	教科主任 グループリーダー	
2月	グループ・教科で効果的な活用法について検討 事例集づくり[ネットワーク上で共有]	教科主任 グループリーダー	
3月	今年度振り返り[全体・職員会議]	三矢	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(門前高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(田嶋 将)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・Chromebookを用いた授業の実践を積極的に行う教員が増えた。生徒数が少ないため生徒一人一台端末が実現し、授業時に活用しやすい環境を整備できたという点も、積極的な使用へつながっていると考えられる。

課題

・教員間でのICT機器の使用頻度と活用スキルの差が大きい。
 ・教員の人数が少なく、研修のアイデアが乏しく、活用スキルの向上へ向けた十分な研修が行えていない。
 ・中高一貫教育を掲げているが、中学校では市が、高校では県がアカウントを管理しているため、Google for Educationの機能を用いた連携を行うことが難しい。

校内研修のアイデア

・GIGA出前サポートの利用や、ICT支援員と協力しての研修を企画し、負担の軽減に努めるとともに、他校種間での交流授業の実践例などを積極的に紹介していただき、Google for Educationの機能以外にもGIGA構想に向けて活用できるものがないか検討する。
 ・実践例の紹介動画、操作マニュアル用動画を作成し、全体研修を行わない場合でも研修が受けられる環境を整備する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

・教員の働き方改革、ICTの活用スキルの向上という側面から教育活動の充実を図り、生徒が主体的にICTを用いて学習し、相手の理解が深まるように、ICTを用いて自分の考えを効果的に発信できるスキルを身につけさせることを目指す。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGAスクール構想の方針や、オンデマンド研修の受け方などについて理解するための研修を行う。 ※新規採用、R3年度未受講の先生のみ	田嶋	新たな授業づくり研修(オンデマンド配信)
5月	GIGAスクール構想2年目に向けた校内研修の内容・目的について理解するための研修を行う。	田嶋	・第1回GIGA校内研修推進リーダー研修4/26(火) ・若プロ等
6月	GIGAスクール構想に伴う情報モラルに関する全体研修を行う。	田嶋	第2回GIGA校内研修推進リーダー研修5/17(火)
7月	校内での互見授業の期間を活かし、教科の枠組みを超えた意見交流などを行う。	各先生方	互見授業
中間目標	教員がGIGAスクール構想2年目に向けての自覚を持ち、授業内での有効活用や業務の多忙化改善に向けた方法を計画できるようになる。		
8月	Chromebookを用いた文化祭でのゲームを企画するなど、有効活用の方法を考え、それについて議論する。	田嶋 生徒会役員 および教員	文化祭(9月)
9月	他校での実践例を紹介し、自校の成果と課題を見直し、改善に向けて議論する全体研修を行う。	田嶋	第3回GIGA校内研修推進リーダー研修9/14(水)
10月	校内で教員間での授業参観の期間を作り、学校公開に向けた意見交流を行う。	田嶋 各先生方	・学校公開(11月) ・若プロ等
11月	学校公開期間中の研究授業の中で、ICTを用いた授業実践を積極的に呼びかけ、実践例を紹介する。	田嶋 各先生方	学校公開
12月	Google for Educationの機能を探究活動のまとめに有効活用できるようにするための研修を行う。	田嶋 各先生方(学年団ごと)	
中間目標	各教科毎、各課毎、各学年団毎にGoogle for Educationの機能を有効活用する方法を確立し、実践へと移すことができるようになる。		
1月	総合的な探究での活動の実践例や課題についての報告を全体研修の中に取り入れる。	田嶋 各先生方(学年団ごと)	
2月	各教科ごとに中高の間で連携してきたことをまとめ、全体に還元する研修を行う。	GIGA校内 研修推進 リーダー(中・高) 田嶋	中高一貫教育全体会
3月	一年間の振り返りを行い、成果・課題を全体で共有し、来年度へ向けた取り組みを考える研修を行う。		

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(輪島高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(山崎 通 玉置)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・全教員が端末の基本的操作を習得する。
- ・校務で端末を用いることにより効率化することができた。
- ・教員が、授業のグループ活動で、1人1台端末を活用することができる。
- ・生徒が、「WAJI活」で共同編集機能を利用し、協力して成果物を作成できる。

課題

- ・一部の教員で一人一台端末の活用について苦手意識を持っている。
- ・生徒の中でも端末を使用することに苦手意識を持っている。
- ・授業で効果的に活用することができるか不安な教員がいる。
- ・授業実践の共有があまりできなかった。

校内研修のアイデア

- ・推進リーダーが研究授業を行い、ICT活用の方法を模索する。
- ・推進リーダーと各教科1人からなるICT活用プロジェクトチーム(I活PT)が積極的に活用することで経験を蓄積する。
- ・年間を通して教員間で意見交流を積極的に行える機会を設ける。
- ・「WAJI活」を基軸として、共通実践を図り、学校全体に広げる。
- ・ICTが苦手な教員に対しては、個別に端末の操作方法を教える機会をもつ。
- ・情報モラル・セキュリティ等の研修を行い、生徒に指導できるようになる。
- ・ロイロノートを用いた、授業実践を行い、共有する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・教科の特性を生かした一人一台端末の活用をすることができる。
- ・生徒が学内での活動(部活動や生徒会活動)に端末を用いることができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	端末の設定・管理方法の検討 「端末操作」個別相談会	推進リーダー 推進リーダー	
5月	動画視聴による研修(ステージ3) 年間研修計画についての説明会	全体 推進リーダー	
6月	「Google For Education」個別相談会 情報モラル・セキュリティの研修を実施	全体 推進リーダー	
7月	推進リーダーが研究授業実施 授業実践例の共有	推進リーダー 全体	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・推進リーダーが授業で実践する。 ・生徒が課外活動や特別活動に端末を用いることができる。 ・教員が授業案を作成できる。 		
8月	「授業案」個別相談会 I活PTによる実践例・研究授業の振り返り	I活PT I活PT	
9月	「WAJI活」でのICT活用について	1・2年学年団	
10月	推進リーダーが研究授業実施	推進リーダー	
11月	I活PTが教科会で情報共有 PT教員の動画視聴	I活PT 全員	
12月	ベテラン教員が授業実践 「WAJI活」成果発表会に向けて	2年学年団	12月21日 2年生ポスターセッション
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間で実践例の情報共有をする。 ・全教員がGoogle For Educationの使い方を習得する。 ・「WAJI活」で有効的なICT活用について指導できる。 		
1月	GIGA出前講座の活用	管理職	
2月	「WAJI活」成果発表会に向けて 実践のまとめ	1年学年団 推進リーダー	
3月	実践のまとめ 次年度に向けて	全体 推進リーダー	1年生WAJI活中間発表

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(飯田高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(島野 しおり)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
7月の研修会を経て、それまで一部教員に限られていた一人一台端末利用の授業が、一気に全教員に広まった。クラスルームでの課題提示にとどまらず、討論や意見比較、グラフソフトの利用など多様な使い方がされるようになった。教員アンケートからも、意見集約反映の即時性や、共同作業が円滑に進められること、意見交換のしやすさなど多くの利点を教員が実感しており、定着しつつある。	調べ学習において、安易に答えを検索するような調べ方をしている生徒も見られるので、今後は課題の提示の仕方などを含めて、生徒の良い探究活動にどのようにつなげていくかを研究していく必要がある。

校内研修のアイデア

- ・若手教員によるプロジェクトチームが実践を蓄積する。(随時)
- ・若手の実践をクラウドを活用して校内に広げる。(随時)
- ・個別での研修の機会を多く設ける。全教員が習得するためのきっかけを作る。(推進リーダー、若手教員)(随時)
- ・総合的な探究の時間=ゆめかな活動での実践を通じて、各教科に広げていく。
- ・ICTが苦手な教員に対しても、ゆめかな活動を通じたOJTにより、習熟を図る。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全教員が、担当する教科で「生徒が1人1台端末を活用して学ぶ授業」を行うことができる。
- ・全生徒が、総合的な探究の時間=ゆめかなの成果を、クラウドを活用して共同作業でまとめることができる。
- ・カレンダー機能など校務でも活用し、教職員同士の連携・協働で業務の生産性を向上させる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明会 動画視聴による研修(ステージ1・2) 生徒向け端末利用説明会(LHR)	研修リーダー 全教員 各担任	4/7 GIGA校内研修推進リーダー研修 ※年間計画持参
5月	動画視聴による研修(ステージ3)~1月まで個人ごと 若手PT勉強会・実践	全教員 PTグループ	
6月	若手PT勉強会・実践	PTグループ	
7月	校内研修会(個別に実施) 若手PT勉強会・実践 若手PT実践例発表会(参加希望者)	研修リーダー PTグループ	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・若手PTによる実践例の共有が確立(未達成・クラウドでの共有はできていない。) ・全教員が端末の基本操作を習得(達成・全員研修会を通じて、端末の操作、クラスルームの使い方について習得) 		
8月	端末操作個別相談会(会を設定せず、随時個別相談で)	推進グループ	
9月	端末操作個別相談会(会を設定せず、随時個別相談で)	推進グループ	GIGA校内研修推進リーダー研修 ※発表資料持参
10月	モデル校視察校内還流報告会(実施できず) 全教員が授業で活用しながら研修・実践	PTグループ 推進チーム	モデル校視察
11月	総合的な探究の時間=ゆめかな活動中間発表会 全教員が授業で活用しながら研修・実践	全教員 全教員	ゆめかな中間発表会
12月	全教員が授業で活用しながら研修・実践	全教員	教員対象ICT活用アンケート(推進チーム)
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が授業で端末活用について指導できる。(達成・教員アンケート) ・全教員が教科の授業で最低5回1人1台端末を用いた授業実践を行っている。(達成・教員アンケート) 		
1月	全教員が授業で活用しながら研修・実践 総合的な探究の時間=ゆめかなの成果をクラウドを利用してまとめる。	全教員 全教員	
2月	総合的な探究の時間=ゆめかなの成果をクラウドを利用してまとめる。	全教員	2/下旬 GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告締切
3月	実践のまとめ 次年度に向けて	推進チーム	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(柘田 竜馬)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
・端末の配備が完了し、いつでも使用できる環境になった。	・教員の中でメディアリテラシーに対する知識が不足していたり、十分なスキルを持たなかったりする者がいる。 ・スキルに差があるため、全体での研修は工夫しなければならない。

校内研修のアイデア

- ・推進リーダーを中心にすでに実践している先生方の授業例を教員全員で会議の場やClassiなどを活用して共有する。
- ・授業互見週間を設け、iPadを使用した授業を公開しお互いのスキルアップを図る。
- ・職員会議後に若プロとタイアップして教員間のICT活用に関する情報交換を行う。
- ・ICTを活用し採点を行うことで教員の負担軽減をする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

〈目指す学びの姿〉
「全教員が授業内でタブレットツールを用いた効果的な授業を行い、生徒の授業に対する意欲と表現力の向上を目指す。」



〈具体的目標〉
・全教員がネットを用いた調べ学習、ロイロノートを用いた教材の配布・回収・提出・共有のスキルを身につけ、授業で実践できる。

- ・ICT機器を使用し、教員の職務負担軽減ができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	デジらく採点研修①【少人数グループでの研修】	GIGAリーダー	定期試験
5月	情報モラル研修【全体研修】	GIGAリーダー	日々の授業
6月	classiアンケート研修【全体研修】	GIGAリーダー 英語科	授業評価アンケート 成績管理
7月	モノグサアプリ利用研修②【少人数グループでの研修】	英語科	
中間目標 教員も生徒も授業内や学校生活でタブレットツールを積極的に利用しようとする。			
8月	動画編集講座【少人数グループでの研修】	GIGAリーダー	文化祭・体育祭
9月	シンキングツールを用いてみよう【少人数グループでの研修】	GIGAリーダー	授業
10月	デジらく研修② (デジらくとClass roomをつなげるスキルについて研修) 【少人数グループでの研修】	GIGAリーダー	定期試験・小テスト
11月	Google Classroom研修	GIGAリーダー	
12月	Google Classroom研修	GIGAリーダー	
中間目標 校内で授業手法を共有し、一人一台有るタブレットツールの効果的な使い方を修得する。			
1月	Google Classroom研修	GIGAリーダー	
2月	デジ楽研修③	GIGAリーダー	定期試験
3月	振り返り	全教員	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(加賀聖城高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(竹俣 幹也)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・教員、生徒共にある程度、Chromebookを使えるようになった。
- ・生徒は発表すること、教員から提示されたGoogle Form等を活用することができるようになった。
- ・教員はChromebook等を活用して、ジャムボードによる資料提示や意見の出し合いをすることができるようになった。

課題

- ・オンライン授業の対応に不安がある教員が多い。
- ・ICT機器を使用する頻度に、教員によって差が生じ始めている。
- ・基礎基本、振り返りの学習に活用したい。
- ・自宅学習に活用したいというニーズが一部生徒にある。

校内研修のアイデア

- ・若手教員早期育成プログラム研修の一環として、若手教員が全職員対象の研修会において講師を務める。(昨年度より継続)
- ・ICT支援員によるオンライン授業についての研修、サポートを実施し、誰もが手軽に対応できるようにする。
- ・定期考査前の授業内でChromebook等を用いた考査対策学習を行えるように、ロイロノートのテスト配信等を活用した教材作りを積極的に行う。(将来的な家庭学習にも対応)

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・教員、生徒共にオンライン授業に対応することができる。
- ・教員は日常的にICT機器を用いた教材の作成、生徒への提示ができる。
- ・生徒は基礎基本、振り返りの学習にChromebook等を活用することができる。
- ・教員はロイロノートを使って双方向型授業を展開することができる。
- ・「総合的な探究の時間」においてロイロノートのシンキングツールなどを活用することにより、さまざまな意見や考えをまとめ、発表することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・年間計画の作成【ビジョン委員会】	若林、竹俣、小谷、鹿野	
5月	・年間計画の共通理解【職員会議】 ・オンライン授業の仕方【校内研修】 ・ロイロノートの使い方【校内研修】	竹俣 吉野 若林、高岡	若手教員早期育成プログラム
6月	・ICT機器を活用した授業実践①保健【公開授業】 ・Chromebookに関するアプリの使い方【校内研修】 ・Chromebookの持ち帰りルールの策定【職員会議等】	高岡 若林、高岡 若林、竹俣	若手教員早期育成プログラム
7月	・Classroomの作り方【校内研修】 ・ICT機器を活用した授業実践②体育【公開授業】	若林、高岡 高岡	若手教員早期育成プログラム
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教員がオンライン授業に対応することができる。 ・生徒がロイロノートを使って、意見を提出することができる。 		
8月	・情報モラル研修【校内研修】	竹俣	
9月	・ロイロノートを使った授業実践(社会)【公開授業】 ・全員がChromebook等を使った授業を月1回以上行う【通常授業】	小谷 全員	
10月	・オンラインを活用した授業(英語)【公開授業】 ・全員がChromebook等を使った授業を月1回以上行う【通常授業】	松本 全員	定通公開授業
11月	・Chromebookテスト勉強活用週間①(24~30日)	全員	
12月	・アンケートを自分で作って行う(錦城山プロジェクト)【通常授業】 ・パソコン室を活用した授業(商業)【公開授業】	全員 竹俣	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教員、生徒共にオンライン授業に対応することができる。 ・教員は日常的にICT機器を用いた教材の作成、生徒への提示ができる。 ・教員は、ロイロノートを用いて双方向型授業を展開することができる。 		
1月	ロイロノートのシンキングツール等を活用した発表を行う(錦城山プロジェクト生徒最終発表会)【授業】	全員	
2月	・Chromebookテスト勉強活用週間②(13~17日) 今年度の取り組みの総括【アンケート等】	全員 竹俣、若林	
3月	来年度のGIGA校内研修計画の策定【ビジョン委員会】	竹俣、若林、松本、鹿野	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(小松北高等)学校 夜間制

GIGA校内研修推進リーダー(長島 寛人)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<p>(1) 授業のどのような場面でICTを活用できるかについて、教科担当者が見通しをもつことができたようになった。</p> <p>(2) 学習に困難を抱えている生徒を支援する方法の一つとして、Chromebookの使用が有効な場面があることがわかった。</p> <p>(3) 生徒が「生活体験発表会」、「総合的な学習(探究)の時間」の発表会で、ICT機器を活用し成果を発表することができた。</p> <p>(4) 生徒の多くが授業において一人一台ICT機器を使った学びの機会があった。</p>	<p>(1) 設備が整っていない</p> <p>①保管場所が離れているため、教室で使おうとする時、多人数分だと運ぶのが重い。</p> <p>②一人一台端末がないと、やりたいことができない。</p> <p>③Wi-Fiや端末整備などハード面をまず整えてほしい。</p> <p>④周辺機器がないので、アナログとデジタルのハイブリットになり、課題などの管理がより煩雑になった。</p> <p>⑤一人一台使用できないので、制限がある。操作方法がわかっていないので、準備に時間がかかる。面倒である。</p> <p>⑥自分で教材を作るのが大変だと思う。すぐに使える教材があれば良い。</p> <p>(2) 教員の習熟度に差がある</p> <p>①生徒をログインさせるだけで、時間がめいっぱいかかる。</p> <p>②教員用のChromebookがないため、自分が習熟しにくい。</p> <p>③動画等の素材準備において、画質・時間・保存場所等の知識が不足している</p> <p>④Googleフォーム等操作の理解が十分でなく、授業での失敗もあった。</p>

校内研修のアイデア

- ・全職員が、ICT機器を使った授業を行い、実践例を蓄積する。
- ・授業実践での失敗例や成功例を共有する。
- ・生徒一人一人の個別最適な学びのためのICT活用方法を学ぶ。
- ・端末やアプリの使い方について学びなおし、ICT機器を授業でどのように活用しているか、情報を共有する。
- ・各課と連携して、アンケートや調査をICTを使った実施について検討する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・生徒がICT機器を活用して発表をすることができる。
- ・生徒がキーボードを使って入力することに慣れている。
- ・全ての教員が、生徒一人一台端末を活用する授業を年間一回以上実践し、実践例が蓄積されている。
- ・全ての教員が、ICT機器を使って、生徒の個別最適な学びのために活用する方法を知っている。
- ・各種アンケート(学校評価アンケート、授業評価アンケートなど)に生徒一人一台端末を活用し、業務の効率化が図られている。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	生徒一人一台端末の管理方法について	推進リーダー	
5月	授業実践・共有[学年ごとで実施]	推進リーダー	
6月	授業実践・共有[学年ごとで実施] ICT機器を活用して各種アンケートを実施[生徒、保護者、教員に実施] 昼間制授業実践の見学	推進リーダー 特別支援コーディネーター	・学校評価アンケート ・授業評価アンケート
7月	授業実践・共有[学年ごとで実施]	推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で生徒一人一台Chromebookを使用した授業実践を行う。 ・夏休み前までのうまくいったことや、そうでなかったことなど実践例を共有する機会を持つ。 		
8月	外部講師による校内研修[全体で受講]:情報モラルについて 実践例の共有	推進リーダー	・校内研修(昼間制と合同)
9月	授業実践・共有[全体で実施] 「総合的な学習(探究)の時間」での生徒発表アドバイス	推進リーダー	・「総合的な探究の時間」各講座発表会
10月	授業実践・共有[全体で実施]	推進リーダー	
11月	授業公開[全体で実施]	管理職 推進リーダー	・学校公開
12月	昼間制通級の授業を見学 授業実践・共有[全体で実施]	推進リーダー 特別支援コーディネーター	・学校評価アンケート ・授業評価アンケート
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で授業実践を行い、うまくいったことや、そうでなかったことを共有する機会を持つ。 ・全ての教員が、学習の個別最適化のためICT機器を使って支援する方法を知っている。 ・授業評価アンケートや保護者へのアンケートをWEB上で行い、業務の効率化を図る。 		
1月	授業実践・共有[全体で実施] 「総合的な学習(探究)の時間」での生徒発表アドバイス	推進リーダー	
2月	一年間の実践例を全体に共有[全体で実施] ICT機器を活用した合理的配慮の方法[全体に提示]	推進リーダー	・「総合的な探究の時間」各講座発表会
3月	次年度に向けた実践のまとめ	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(小松北高等)学校 昼間制

GIGA校内研修推進リーダー(藤田未帆)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- (1) 授業のどのような場面でICTを活用できるかについて、教科担当者が見通しをもつことができたようになった。
- (2) 学習に困難を抱えている生徒を支援する方法の一つとして、Chromebookの使用が有効な場面があることがわかった。
- (3) 生徒が「生活体験発表会」、「総合的な学習(探究)の時間」の発表会で、ICT機器を活用し成果を発表することができた。
- (4) 生徒の多くが授業において一人一台ICT機器を使った学びの機会があった。

課題

- (1) 設備が整っていない
- ①保管場所が離れているため、教室で使うと運ぶのが重い。
 - ②一人一台端末がないと、やりたいことができない。
 - ③Wi-Fiや端末整備などハード面をまず整えてほしい。
 - ④周辺機器がないので、アナログとデジタルのハイブリットになり、課題などの管理がより煩雑になった。
 - ⑤一人一台使用できないので、制限がある。操作方法がわからないので、準備に時間がかかる。面倒である。
 - ⑥自分で教材を作るのが大変だと思う。すぐに使える教材があれば良い。
- (2) 教員の習熟度に差がある
- ①生徒をログインさせるだけで、時間がめいっぱいかかる。
 - ②教員用のChromebookがないため、自分が習熟しにくい。
 - ③動画等の素材準備において、画質・時間・保存場所等の知識が不足している
 - ④Googleフォーム等操作の理解が十分でなく、授業での失敗もあった。

校内研修のアイディア

- ・全職員が、ICT機器を使った授業を行い、実践例を蓄積する。
- ・授業実践での失敗例や成功例を共有する。
- ・生徒一人一人がキーボードを使った入力を行う場面を確保する。
- ・端末やアプリの使い方について学びなおし、ICT機器を授業でどのように活用しているか、情報を共有する。
- ・様々な困難を抱える生徒に対して、ICT機器を使ってどのような支援ができるかを知る。
- ・各課と連携して、アンケートや調査をICTを使った実施について検討する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・生徒がICT機器を活用して発表をすることができる。
- ・生徒がキーボードを使って入力することに慣れている。
- ・全ての教員が、生徒一人一台端末を活用する授業を年間一回以上実践し、実践例が蓄積されている。
- ・全ての教員が、ICT機器を使って、学習に困難を抱えている生徒を支援する方法を知っている。
- ・各種アンケート(学校評価アンケート、授業評価アンケート、進路希望調査、通学状況調査など)に生徒一人一台端末を活用し、業務の効率化が図られている。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	各種調査に一人一台端末を活用する[全体で実施]	推進リーダー	・通学調査 ・進路希望調査
5月	授業実践・共有[学年ごとで実施]	推進リーダー 学年主任	
6月	授業実践・共有[学年ごとで実施] ICT機器を活用して各種アンケートを実施[生徒、保護者、教員に実施] ICT機器を活用した合理的配慮の方法について[全体に提示]	推進リーダー 授業担当者 特別支援コーディネーター	・「個別的教育支援計画」作成 ・学校評価アンケート ・授業評価アンケート
7月	授業実践・共有[学年ごとで実施]	推進リーダー 授業担当者	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会ごとに授業実践を行い、うまくいったことや、そうでなかったことを共有する。 ・夏休み前までの実践例を共有する機会を持つ。 		
8月	外部講師による校内研修[全体で受講] 実践例の共有	推進リーダー	
9月	授業実践・共有[全体で実施]	推進リーダー	
10月	授業実践・共有[全体で実施]	推進リーダー	
11月	授業実践・共有[全体で実施]	推進リーダー	
12月	通級の授業を見学 授業実践・共有[全体で実施]	通級担当者 推進リーダー	・学校評価アンケート ・授業評価アンケート
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で授業実践を行い、うまくいったことや、そうでなかったことを共有する機会を持つ。 ・全ての教員が、ICT機器を使って、学習に困難を抱えている生徒を支援する方法を知っている。 ・授業評価アンケートや保護者へのアンケートをWEB上でを行い、業務の効率化を図る。 		
1月	授業実践・共有[全体で実施]	推進リーダー	
2月	一年間の実践例を全体に共有[全体で実施] ICT機器を活用した合理的配慮の方法[全体に提示]	推進リーダー 特別支援 コーディネーター	・「総合的な探究の時間」各講座発表会 ・来年度の「個別的教育支援計画」作成
3月	次年度に向けた実践のまとめ	推進リーダー	・「総合的な探究の時間」全体発表会

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立金沢中央高等学校 夜間制

GIGA校内研修推進リーダー(濱崎 伸一朗)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> chromebook等のPC端末や各種アプリに実際触れることで、今後の授業活用イメージをもつことができた。 定期的な校内研修会により、Chromebookを活用しようと取り組む形ができた。 今後の授業の展開の中で、効果的な活用方法に、取り組んでみようとする教員の関心・意欲の喚起につながったと期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> chromebookの台数が限られているため、2~3班に分けて校内職員研修を実施した。 個々の教員間でPC端末・アプリの活用能力に大きな個人差が見られ、必要とされる知識・技能に幅がある。 生徒の学びの質を高める、1人1台端末を活用した授業づくりの教科内での取り組み。

校内研修のアイデア
<p>1. 校内研修(全体) chromebookの操作方法や、授業を想定したアプリの使用方法についての全体研修を行う。(研修リーダーを講師とする)</p> <p>2. 校内研修(希望者) 多くの職員が利用するアプリについて、効果的な活用する方法について希望者研修を行う。(校内のスキルが高い教員を講師とする)</p> <p>3. 授業研究 互見授業週間にICT機器を用いた授業を行い、ICT機器の効果的な使用方法について意見交換する。(授業研究)</p>

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<ul style="list-style-type: none"> chromebook、PC等を用いて、学習への興味・関心を高め、基本的・基礎的な学習内容を主体的に学ぼうとする意欲が向上する。 ICT機器を用いて、自分の考えやグループの考えをまとめたり、表現することができる。 各個人が相互に得た知識・技能を共有したり、関連したりする学習を協働的に行うことができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明会【全体】	推進リーダー	4/26(火)GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	chromebookを利用してリアルタイム講義の実践①【全体】 Googleアプリの活用について	推進リーダー	5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	chromebookを利用してリアルタイム講義の実践②【全体】 Googleアプリの活用について	推進リーダー	
7月	Google keepの使い方【個人希望者】 仕事の効率化について	推進リーダー	
中間目標	chromebookを利用して教材の提示、仕事の効率化を図ることができる。		
8月	パワーポイントの使い方【個人希望者】 図形・写真の効果的な作成方法について	推進リーダー 教務	
9月	ワードの使い方【個人希望者】 表・写真の効果的な作成方法について	推進リーダー 教務	9/14(水)GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	効果的なICT活用について【各教科】 授業改善を目指して	各教科 推進リーダー	
11月	互見授業週間【個人全員】 ICT機器を用いた授業を行い、意見交換する	教務 推進リーダー	
12月	希望アプリケーションの活用方法について【全体】 職員の希望の多いアプリケーションの活用方法について	推進リーダー	
中間目標	教職員が様々な活用事例を学び、実際に学習に生かしながら情報交換ができています。		
1月	実践のまとめ【各教科】	各教科	※教員対象アンケート
2月	次年度に向けて【全体研修】 次年度の目標と研修計画	推進リーダー	2/24実践報告提出
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立金沢中央高等学校 昼間制

GIGA校内研修推進リーダー(南 成美)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> chromebook等の端末や各種アプリに実際触れることで、教職員が今後の授業での活用イメージをもつことができた。 定期的な校内研修会により、Chromebookを活用してみようとする意識が向上した。 今後の授業展開のなかで、より効果的な活用に取り組もうとする教職員の関心・意欲の喚起につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> chromebookの台数が限られているため、2~3班に分けて校内職員研修を実施した。 個々の教員間でPC端末・アプリの活用能力に大きな個人差が見られ、必要とされる知識・技能に幅がある。 生徒の学びの質を高める、1人1台端末を活用した授業づくりについて、各教科内での情報交換や取り組みが必要である。

校内研修のアイデア
<p>1. 校内研修(全体) chromebookの操作方法や、授業や業務改善を想定したアプリの使用方法についての全体研修を行う。(研修リーダーを講師とする)</p> <p>2. 校内研修(希望者) 多くの職員が利用するアプリについて、効果的な活用する方法について希望者研修を行う。(校内のスキルが高い教員を講師とする)</p> <p>3. 授業研究 互見授業週間にICT機器を用いた授業を行い、ICT機器の効果的な使用方法について意見交換する。(授業研究)</p>

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<ul style="list-style-type: none"> chromebook、PC等を用いて、学習への興味・関心を高め、基本的・基礎的な学習内容を主体的に学ぼうとする意欲が向上する。 ICT機器を用いて、自分の考えやグループの考えをまとめたり、表現することができる。 各個人が相互に得た知識・技能を共有したり、関連したりする学習を協働的に行うことができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明会【全体】	推進リーダー	4/26(火)GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	Googleアプリの活用のための研修会①(classroom)【全体】	推進リーダー	5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	Googleアプリの活用のための研修会②(forms)【全体】	推進リーダー	
7月	希望アプリケーションの活用方法について【全体】 職員の希望の多いアプリケーションの活用方法について	推進リーダー	
中間 目標	教職員全員が、Chromebookを利用した教材の提示等授業での活用、または効率化を図るために業務での活用を行っている。		
8月	効果的なICT活用を探る授業実践報告会①【全体】 「うまくいったこと・うまくいかなかったこと」 1/10教科	推進リーダー 教務	
9月	効果的なICT活用を探る授業実践報告会②【全体】 「うまくいったこと・うまくいかなかったこと」 3/10教科	推進リーダー 教務	9/14(水)GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	効果的なICT活用を探る授業実践報告会③【全体】 「うまくいったこと・うまくいかなかったこと」 3/10教科	各教科 推進リーダー	
11月	互見授業週間【個人全員】 ICT機器を用いた授業を行い、意見交換する	教務 推進リーダー	
12月	効果的なICT活用を探る授業実践報告会④【全体】 「うまくいったこと・うまくいかなかったこと」 3/10教科	推進リーダー	
中間 目標	教職員が様々な活用事例を学び、実際の授業や業務改善等に生かしながら、互いに情報交換できている。また、教材や様式等作成したものをお互いに共有している。		
1月	実践のまとめ【各教科】	各教科	※教員対象アンケート
2月	次年度に向けて【全体研修】 次年度の目標と研修計画	推進リーダー	
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(羽松高等)学校

GIGA校内研修推進リーダー(峪 光司)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・毎月おこなったミニ研修によって、先生方が気軽に授業実践を試みるきっかけ作りができた。
- ・各教科の授業実践報告を研修内容にしたことで、具体的なICT活用のイメージをお互い持つ機会が持てた。
- ・ICTについての情報を共有しやすい雰囲気作りができた。

課題

- ・教員のICT機器に対する抵抗感や活用スキルの格差。
- ・生徒の協働的な学びにICTを活用するための、教員のスキル不足。
- ・ICT機器の操作に抵抗のある生徒や入力速度の遅い生徒に対する合理的配慮。
- ・一人一台パソコンの生徒の利用方法やルール作り。

校内研修のアイデア

1. 教員のICTに対する抵抗感をなくす
 - (1) ミニ研修会を随時実施。
(ICT支援員によるミニ研修(授業で使えるアプリの提案等)の設定)
 - (2) 先生方の実態に応じた研修内容の計画と実施。
2. 教員のICTに対するスキルUP
 - (1) 各教科や総合的な探究の時間等、授業で(特に協働的な学習において)積極的にICTを利用する。
3. GIGA校内研修推進リーダーを中心に、各教科の協働的な学習の場面でのICT活用実践報告と実践した際の悩み相談、意見交換等を定期的に行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・すべての教員が、ICT機器・各種アプリを用いて生徒が主体的・協働的に学習できる場面を設定し活動させることができる。
- ・生徒がICT機器を活用し、自らまとめた成果を他者に発表したり相互評価したりすることができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	方向性の確認※教頭・推進リーダー	教頭 大高	4/26(火)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	情報モラル、他校との情報交換(年間計画)※推進リーダー 動画視聴による研修(ステージ1・2・3)※個人 ICTを用いた授業<ミニ研修1>Classroomの使い方を学ぼう	校長 ICT支援員	5/17(火)第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 ※年間計画持参
6月	ICTを用いて協働的な学習の場面を設定した授業の実践報告・実践した際の悩み相談・意見交換会① <ミニ研修2>Formsの使い方を学ぼう	国語担当 ICT支援員	
7月	ICTを用いて協働的な学習の場面を設定した授業の実践報告・実践した際の悩み相談・意見交換会② <ミニ研修3>授業に役立つアプリとできることを知ろう	社会担当 ICT支援員	
中間 目標	教員のICTを活用した授業を意識し、計画・実践することへの抵抗感を減らす		
8月	ICTを用いて協働的な学習の場面を設定した授業の実践報告・実践した際の悩み相談・意見交換会③ <ミニ研修4>授業に役立つアプリとできることを知ろう	英語担当 ICT支援員	
9月	ICTを用いて協働的な学習の場面を設定した授業の実践報告・実践した際の悩み相談・意見交換会④ <ミニ研修5>授業に役立つアプリとできることを知ろう	理科担当 ICT支援員	9/14(水)第3回GIGA校内研修推進リーダー研修 ※発表資料持参
10月	ICTを用いて協働的な学習の場面を設定した授業の実践報告・実践した際の悩み相談・意見交換会⑤ <ミニ研修6>授業に役立つアプリとできることを知ろう	保健体育 担当 ICT支援員	
11月	ICTを用いて協働的な学習の場面を設定した授業の実践報告・実践した際の悩み相談・意見交換会⑥ <ミニ研修7>授業に役立つアプリとできることを知ろう	数学担当 ICT支援員	
12月	ICTを用いて協働的な学習の場面を設定した授業の実践報告・実践した際の悩み相談・意見交換会⑦ <ミニ研修8>授業に役立つアプリとできることを知ろう	情報担当 ICT支援員	
中間 目標	各教員が、ICT機器・各種アプリを用いて生徒が主体的・協働的に学習できる場面を設定し活動させることができる 生徒がICT機器を活用して、自らまとめた成果を他者に発表したり相互評価したりすることができる		
1月	ICTを用いて協働的な学習の場面を設定した授業の実践報告・実践した際の悩み相談・意見交換会⑧ <ミニ研修9>授業に役立つアプリとできることを知ろう	家庭担当 ICT支援員	
2月	今年度の実践のふり振り返り 実践のまとめ※推進リーダー 次年度に向けて※推進リーダー	峪 大高	2/24(水)実践報告 ※実践報告の作成
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

石川県立七尾城北高等学校

GIGA校内研修推進リーダー（柳川 正祐）

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末の活用により、生徒の学習意欲が高まった。 定期的な校内研修により、Chromebookを活用しなければならないという気持ちが高まった。 生徒の学びの変化、教師の指導支援の変化があった。 どの項目、どの場面でChromebookを活用するかを考えることで、授業のねらいを明確にし、組み立てを再考するきっかけになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ベテラン層が多く、ICTに対する苦手意識がある教員が多い。 慣れていないので、Chromebookの準備、後片付けが大変である。 「授業のどの場面に取り入れるか」「生徒にどのような思考をさせるか」等の授業デザインを考えてから、各種アプリを使用することが大切である。 ICTを活用することが優先され、生徒の自由な思考が妨げられている場面が見られる。 今後全員一斉メール(Classroom等)の活用は不可欠だが、本校では家庭での通信環境に差があり、全員への配信が難しい。

校内研修のアイデア

- ・教員が相互に実践例を校内全体に広げる機会をもつ。（年間を通して随時）
- ・ICTが苦手な教員に対しては、個別に端末の操作方法を教える機会をもつ。（年間を通して随時）
- ・ICT支援員の協力を得て、校内研修の充実を図り、教員一人ひとりのICT機器活用能力の向上を図る。
- ・授業の視覚化や、発問の工夫、話し合いの場面での配慮など、ユニバーサルデザインを意識した授業を展開していく中で、生徒一人一台端末を活用する機会を増やしていく。（担当教科において、前後期各2回以上）

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全生徒が端末を利用して、学びを深め、効果的な学習活動（「授業のどの場面に取り入れるか」「生徒にどのように思考させるか」等）ができるようになる。
- ・全教員が、担当教科において、前後期各2回以上、生徒一人一台端末を使用した授業を行うことができるようになる。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明会〔全体〕 新たな授業づくり研修（オンデマンド動画視聴）ステージ1・2〔個人〕	推進リーダー 全教員	・4/26(火)GIGA校内研修推進リーダー研修① 「GIGAスクール構想2年目に向けて」「校内研修の推進に向けて」
5月	新たな授業づくり研修（オンデマンド動画視聴）ステージ3〔個人〕 「情報モラル」校内研修〔全体〕 勉強会・実践（随時）〔グループ・個人〕	全教員	・5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修② 「情報モラル」「校内研修計画及び取組状況」
6月	「端末操作」個別相談会（随時）〔個人〕 勉強会・実践（随時）〔グループ・個人〕	推進チーム	・生徒向け説明会(情報モラル、端末操作について) ・6/6(月)受講完了後、アンケート回答締切
7月	「端末操作」個別相談会（随時）〔個人〕 勉強会・実践（随時）〔グループ・個人〕 実践発表会（第1回）〔全体〕	推進チーム	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実践例を共有する。 ・全教員が端末の基本操作を習得する。 		
8月	授業でのICT活用について〔全体〕 「端末操作」個別相談会（随時）〔個人〕	推進チーム	
9月	授業でのICT活用について〔全体〕 「端末操作」個別相談会（随時）〔個人〕	推進チーム	9/14(水)GIGA校内研修推進リーダー研修③ 「前期の取組を終えて」「次のステップに向けて」
10月	モデル校視察発表会〔全体〕 勉強会・実践（随時）〔グループ・個人〕	推進チーム	モデル校視察(推進チーム)
11月	効果的なICT活用について〔各教科会〕 勉強会・実践（随時）〔グループ・個人〕	全教員	
12月	勉強会・実践（随時）〔グループ・個人〕 実践発表会（第2回）〔全体〕	全教員	教員対象ICT活用アンケート（推進チーム）
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が、「総合的な探究の時間」の中で、ICTを活用した生徒の活動を支援できる。 ・全教員が、担当教科において、前後期各1回以上、生徒一人一台端末を使用した授業を行うことができる。 		
1月	効果的なICT活用について〔各教科会〕 勉強会・実践（随時）〔グループ・個人〕	全教員	
2月	外部講師による校内研修〔全体〕	推進チーム	2/24(金)GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告 締切
3月	実践のまとめ〔全体〕 次年度に向けて〔全体〕	推進チーム	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県)立(輪島高等(定時))学校

GIGA校内研修推進リーダー(高木 智啓)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・全教員がGoogleアプリの基本的な操作方法を習得した。
- ・全教員が1人1台端末を活用した授業を実施することができた。
- ・研修を通してICTの活用についてスキルアップを図ることができた。
- ・生徒の意欲が高まる場面もあり、さらなる活用の可能性を感じることができた。

課題

- ・教員の端末利用の習熟度に差があるので、個々のスキルをさらに高めたい。
- ・活用方法のバリエーションを広げ、より有効な活用方法を模索したい。
- ・操作や危機にトラブルがあった場合、必ずしも迅速に対応できていない。
- ・全日制と管理上の切り分けが上手くいっていないので、独自に設定の変更ができない。

校内研修のアイデア

- ・年間を通して、ICTの活用が苦手な教員に対しては、端末の操作方法等を個別に教える機会を設ける。
- ・授業でのICTの活用実践を教員同士が共有し合う機会を設ける。
- ・授業実践発表会の際に、全教員が端末の有効な活用方法について、他の職員に教授する場面を設ける。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全教員が端末の活用を通して、担当教科の特性を活かした授業ができるようになる。
- ・全生徒が端末を活用し、効果的な学習ができるようになる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明会[全体]	推進リーダー 全教員	4/26(火)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	動画視聴による研修(情報モラルについて)[個人] 端末を活用した授業実践[個人] 校内研修(授業実践共有)[グループ・個人]	推進リーダー	5/17(火)第2回GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	端末操作に関する個別相談(随時)[個人] 端末を活用した授業実践[個人] 校内研修(授業実践共有)[グループ・個人]	推進リーダー	
7月	校内研修(授業実践共有)[グループ・個人] 端末を活用した授業実践[個人] 実践発表会[全体]	推進リーダー 全教員	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員の情報モラルに対する意識が向上する。 ・5~7月中に全教員が担当する教科で3回以上端末を活用して授業を行っている。(そのうち1回はロイロノートを活用する) ・実践発表会で、半数の教員が端末の有効な活用方法について、他の職員に教授する。 		
8月	動画視聴による研修(各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について)[個人]	推進リーダー	
9月	端末を活用した授業実践[個人] 校内研修(授業実践共有)[グループ・個人]	全教員	9/14(火)第3回GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	端末を活用した授業実践[個人] 校内研修(授業実践共有)[グループ・個人]	全教員	
11月	端末を活用した授業実践[個人] 校内研修(授業実践共有)[グループ・個人]	全教員	
12月	端末を活用した授業実践[個人] 校内研修(授業実践共有)[グループ・個人] 実践発表会[全体]	全教員	
中間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員の端末操作スキルが向上する。 ・9~12月中に全教員が担当する教科で3回以上端末を活用して授業を行っている。(そのうち1回はロイロノートを活用する) ・実践発表会で、残り半数の教員が端末の有効な活用方法について、他の職員に教授する。 		
1月	端末を活用した授業実践[個人] 校内研修(授業実践共有)[グループ・個人] GIGA出前サポート(希望があれば)[全員]	全教員	
2月	端末を活用した授業実践[個人] 校内研修(授業実践共有)[グループ・個人]	全教員	
3月	実践のまとめ[全体] 次年度に向けて[全体]	推進リーダー	2/24(金)GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告締切

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(石川県) 立 (金沢泉丘高等) 学校 (通信制課程)

GIGA校内研修推進リーダー (榎本妙子)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・Google Classroomの利用についてのメリットが教員間で共有できた。
- ・Google Formsを利用して全教員がスクーリングアンケート(授業評価)を実施できた。
- ・ZOOM等のオンラインミーティングの実施法について教員間で共有できた。

課題

- ・一人1台PCが配布されていない現状で、授業実践の研修を行う機運が高まらなかった。
- ・Google Classroomへの投稿頻度に教員間で差異がみられた。
- ・ZOOM等のオンラインミーティングを体験はできたが、実際に経験する機会が少ない。

校内研修のアイデア

- ①G Suite for Educationを運用する。
 - ・レポート作成に役立つ資料や課題を提示する。
 - ・学習を補完する動画などを作成し、提示する。
 - ・Google フォームでスクーリングアンケートを実施する。
- ②ZOOMを利用した面談や質問教室を実施する。
- ③1人1台端末の活用
 - ・chromebookを活用した授業づくりを考える。(Jamboardの活用)
 - (文章作成ソフトの活用)
 - (表計算ソフトの活用)

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

”すぐにでも””どの教科でも””誰でも”活かせる1人1台端末を教員がスクーリング等で効果的に活用することができるようになる。

- ・G Suite for Educationの積極的効果的に活用し、学習を補完、深める課題の提示ができる。
- ・Chromebookの活用により生徒が効率的に理解を深めることができるようになる。
- ・Chromebookの活用により生徒が協働学習など他者の考えを知り、課題の解決を目指すことができるようになる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月			4/26第1回GIGA校内研修 推進リーダー研修
5月	Google Classroomの活用【全教員】 ・活用方法を再確認し、Google Classroomでの学習を補完。 ・資料や課題を提示し、生徒に学びを深めさせる。 Chromebookを活用した授業の見学【全教員】	推進リーダー	5/17第2回GIGA校内研修 推進リーダー研修
6月	Google フォームの活用【全教員】 ・スクーリングアンケートを作成、実施する。 Chromebookに触れる【全教員】	各教科 推進リーダー	スクーリングアンケート
7月	Googleフォームの活用【全教員】 ・スクーリングアンケートを集計、分析する。 Chromebookの活用法①【全教員】 ・Chromebookでできることを知る。	各教科 推進リーダー	
中間 目標	G Suite for Educationを運用し、レポート作成に役立つ資料や課題を提示することができる。		
8月	chromebookの活用法②【全教員】 ・Chromebookでできることを知る。 ・教科で活かせることを考える。	推進リーダー 各教科	
9月	互見授業月間【全教員】 ・授業における工夫を共有する。	教務 各教科	9/14第3回GIGA校内研修 推進リーダー研修
10月	各教科における効果的なICT活用について【各教科】 ・授業改善を目指して意見交流(実践の共有)	各教科 推進リーダー	
11月	Google フォームの活用【全教員】 ・スクーリングアンケートを作成、実施する。 Chromebookを活用した授業の見学。【全教員】	各教科 推進リーダー	スクーリングアンケート
12月	Google フォームの活用【全教員】 ・スクーリングアンケートを集計、分析。	各教科	
中間 目標	ICT(chromebookなど)を活用したスクーリングやGoogle Classroomにより、生徒の興味・関心が高まり、学習意欲を向上させることができる。		
1月	今年度のまとめ【全教員】	推進リーダー 各教科	
2月	次年度の目標と研修計画【全教員】	推進リーダー	
3月			